



'88.8

せんがわ 21

実篤と新しき村 特集号

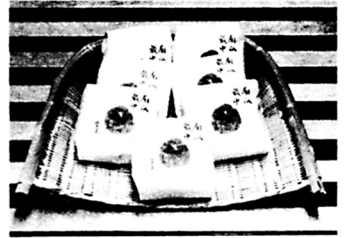
“実篤と新しき村” 仙川フォーラム '88

御祝用菓子・御仏事用菓子 ご注文承ります

仙川で生まれた

かぼ ちや
南瓜最中

(粒あん求肥入最中)



銘葉
深大
袖子

仙川商店街中央・藤屋ビル1F

☎300-0416

南瓜最中本舗

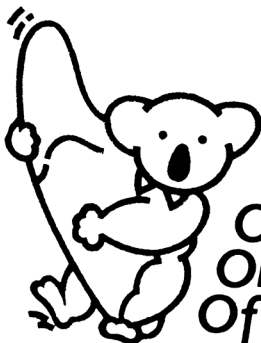
茶屋

大塚矯正歯科医院

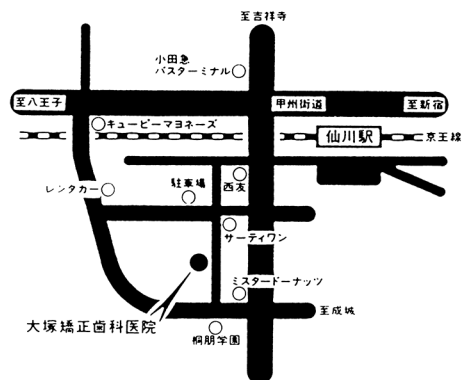
歯並びに関するお問い合わせ

御予約はお電話にてお願いいたします

TEL 308-0707



Ohtsuka
Orthodontic
Office



休診日 日曜・祭日・金曜日

診療時間 10:00~1:00 3:00~6:30



実篤空間の今

公園と記念館を結ぶ地下通路

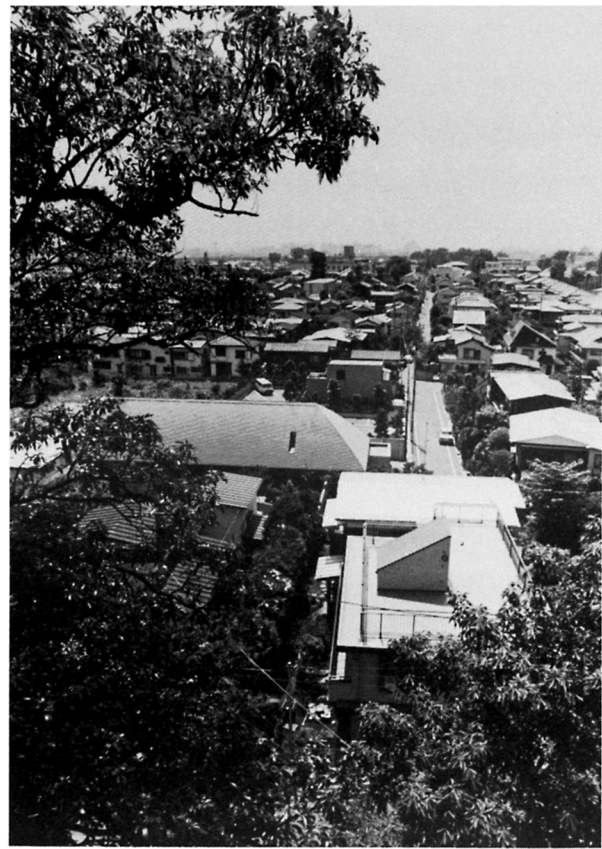
カメラ
加藤純一郎



10周年を迎える
実篤公園

('88.5 ~ 6)





開館 3 周年の

実篤記念館





三矢喜代子さん



清水ヤス子さん



長谷川路子さん 学芸員の伊藤陽子、福島さとみさん



館長役の堀公彦さん



加藤光太郎さん

坂本力さん 名取常一さん



小松崎義久さん 八巻喜太郎さん

高橋良平さん 仲宗根善永さん

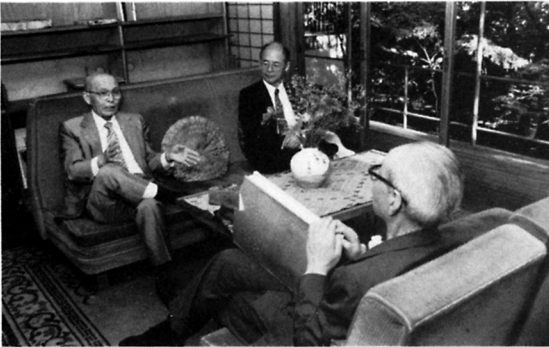
公園・記念館 を担う人たち



実篤生誕103年祭 に集う人々



江馬嵩氏 福田桂次郎氏



旧邸にて 渡辺貫二、石川清明、前田伍作の各氏

('88.5.8)

カメラ 丸井 潤



武者小路辰子さん（実篤の三女）



村内・村外会員、地元・仙川の有志も参加して



実篤とはもともと一族であり、やがて妻の父として戦後のかかりの年数を同じ家でくらししていたのだが、実篤についてわかっているとはいえない。文学書を読みふけた青年期には、同じ名字というのも照れくさく、あの人間賛歌が戦争が激化していく時代のなかで何となくこそばゆく、あまりその作品を読むことはなかった。戦争の末期からふれあう機会をもつようになり、その人ならには好感をいただいたが、作品を通してみることはやはりまだなかったし、新しい村についてもかならずしも共感するわけではなかった。ただ、同

じ家に生活していても、何の制約も加えず、こちらに必要がなければ立入ることのないのは、きわめてありがたかった。「君はそれが好きなのか」、ときには「お前はそんなものが好きなのか」ということになるのだが、本人が好きなきことをするのは絶対にとめることがない。小学校以来の戦争の継続で「ねばならぬ」で育ってきたながら、好きなきことをして暮らすことを望んでいた私にとって、これは何よりの環境だった。

初めから私事を述べてしまったが、じつはこれが実篤の「新しき村」を考える上でもだ

実篤の空間

「村」というのは

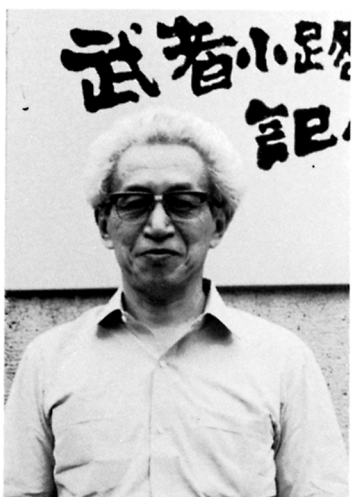
むしやこうじ・みのる

いじなことだと思う。公卿華族の家に生まれ、その格式や因習から脱却しようとしたときに唱えた「人間」とか「人類」という言葉のみでは抽象性に流れ、生きていく足場としての実体になりえない不安が新しき村をつくらせたのではなからうか。日向の、いま訪れる人も驚く山の中に開いた土地は、景色が良く、求めていた「桃源郷」にぴったりだったのかも知れないが、本人が後に「農業を知ってい

れば選ばない土地」といつているほどの所で、集まり住んだ人々を支えることはできず、実篤自身が村を出てその著作活動で資金をつくらなければならなかったのだから、世間がこれを失敗と見たのもむりはない。だから、埼玉で村の活動が続いているのを見ると驚く人が多い。

だが、実体として求めた足場だから、それは現実の土地をとまわなければならなかったのだから、それだけで実篤の「村」の存否が問われるものではない。日向・埼玉いずれもその活動に大きな意義をもったにちがいないが、それも農耕によって生活を支える場というよりも、実篤流にいう好きなことをする場としてであり、その意味では日向・埼玉の外にも「村」が生きているはずなのである。その地に住まない多くの人々が村を支え、そこから出て行った人が晩年に至っても情熱的に村を語ることを見れば、それは明らかである。さきにもいうとおり、実篤の村の実現の仕方や運営に賛同してはいないのだが、この「村」のあり方は興味がある。こういうそれぞれが「好きなこと」をする人と人との間に形成されるまさに「人間」の空間は、むしろいまのような時代相のなかでこそ求められていいのだろう。

(和光大学教授・実篤記念館顧問)

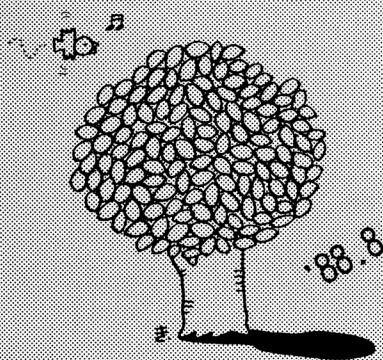


せんがわ 21

実篤と新しき村

特集号
目次

“実篤と新しき村”
仙川フォーラム'88



表紙デザイン / 山岡 義典
表紙写真 / 加藤 純一郎
写真 / 加藤 純一郎
丸井 潤
イラスト / 栗田 行雄
小沢 基弘
こやま きょうい
レイアウト / 青野 道子
版下制作 / 木下仁+和光印刷

- 企画・“実篤と新しき村”
仙川フォーラム'88
- 協力・調布市実篤記念館
(財)新しき村
- 発行・せんがわ まちニティ
情報センター

特集1 “実篤空間と私” 2

- ・三沢 浩 ・佐藤 仁道 ・渡辺 三枝子 ・堀 平八
- ・檜森 満子 ・佐々木 孝一 ・杉本 三依 ・岡上 栄二
- ・宮川 和夫 ・加藤 純一郎 ・本間 樹和子 ・川口 三八

● 公園オープン10周年を迎えて 11
小嶋 重春

● 武者小路 実篤 — 抄録・略年表 14

● 実篤 讚 — その魅力 日隈 久典 19

特集2 “新しき村”70周年を迎えて 24

- “新しき村”の70年 渡辺 寛二 24
- 帰去来 松田 省吾 28
- こころとものの調和を目指して 今 防人 29

口絵写真 “実篤空間の今”

- 実篤の空間 — “村”というのは むしゃこうじ・みのる

マップ

- スケッチ 仙川・実篤の杜 栗田 行雄
- マップ21 実篤さんも散策した
仙川・実篤の杜 半日おすめ道遥ガイド
- 実篤公園・記念館 道順マップ / スペース仙川火曜劇場

クラブア

- ちょっと おじゃまします!!
“新しき村 東京支部 木曜会”
- 日向新しき村 いま むかし
- 新しき村(毛呂山) いま むかし
渡辺 兼次郎

せんがわギャラリー

実篤“自画像”

- 仙川フォーラム'88 実篤さんと仙川と新しき街づくり 33
- まちニティカレンダー 周年記念 イベントプログラム 34
- クラブア キラリ・パチリ でっあげ?! 仙川の美男美女
インフォメーション

- ・まちニティショップ・カタログ 40
- ・仙川フォーラム'88会則 / 編集後記 38



“実篤空間と私”

公園にあずま屋を設計する

● 三沢 浩

調布市との浅からぬ因縁は、多分に「せんがわ」と関係があった。まちづくりとのつながりであり、都市デザインであり、「みち・みどり・みずの修景」をモットーとする私の修景論との関係である。仙川のまちづくりから、深大寺周辺の参道づくり、境内の修景は今や大きな手法として、調布市の観光地計画へと流れる。

実篤公園の修景は、これからの調布市の観光や名所めぐり散歩の一環として位置づけられている。つまり散歩コースの整備が同時に名所の整備、都市デザインのひとつである景観の整備になるからである。

国分寺台地が野川にさがるハケの一部、古い武蔵野の面影の一部を残すこの土地を見つけ、緑のままに残した故人の炯眼に私は目を見張る。居を構え、もつとも自然に木の繁るまま、水の流れるまま、草の根づくまま

に庭を育て、見守ってきたのを私は感ずる。水は低きに流れる。その池の水は二つ目をおりて、三つ目に入り、抜けて「空堀」をつくった。その土地を埋めて「あづま屋」をつくり、募って集う人びとの想いの場にしようとする計画があった。私は埋めるのに反対し、あえて「空堀」を生かした。高床のあづま屋には八ッ橋

この公園の独特の自然 ● 佐藤 仁道

の手法で渡り、見晴らしの良い単純な和風の寄せ棟小屋を置くことにした。その方が、故人の意図にかない、おおらかに自然のまま、あがままに武蔵野の林の中で息づくものとなるに違いないと信じたからである。大地は手を加えず、自然におき、水のおもむくに従って建物を加えたのである。(建築家)

「武者小路実篤全集」(全18巻)の仕事にかかわってから、早いものでまる三年を少しすぎた。

多くの方がたのご協力によって、現在第五巻の刊行を目前にしている。

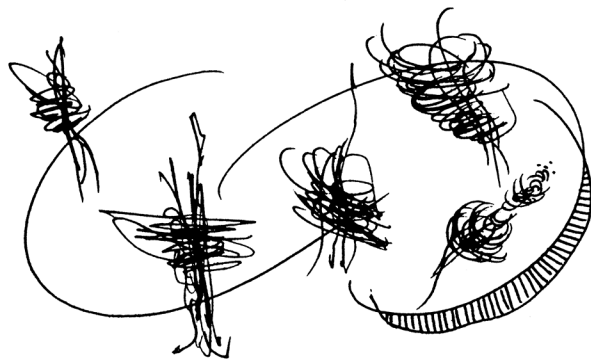
なにしろ七十年近くにおよぶ著者の業績を集成しようとする

事業であるから、編集委員の方 がたの労苦は並大抵ではない。

小説・戯曲・詩・雑感・書画……と、文芸のあらゆるジャンルを含むといってもいい作品の多様さと独自性、なものにもとらわれない純粹さと自由さ、

そして人類の未来に対する限り

特集



ない愛と確信——著者に関する評言は枚挙にいとまがないが、私はその作品に「生きる達人」といわれ、「巨人」といわれる著者の、人間としての幅広さと奥行きの深さを感じる。

仕事のあい間、いや仕事のため、記念館を訪れる私は、きまつて仙川の駅をおり、まず実篤公園に足を踏み入れることにしている。四季を通じての園内の趣きは、私に自然のいろいろな

一枚の色紙から

● 渡辺 三枝子

表情をみせてくれる。カエデあり、クヌギあり、そしてスギもサクラも。手入れのゆきとどいた公園も決してわるくはないが、この公園の独特の自然、一見雑然ともみえるのびのびした自然の自由さはまた格別である。

（小学館編集者）

私の実篤作品との初めての出会いは、子供の頃部屋に飾られていた一枚の複製の色紙でした。「共に咲く喜び」と書かれたその色紙には、八分咲きと五分咲きで、淡いピンクとローズピンクのバラが、あたかも対話しているかのように瑞瑞しく描かれていた。私はその色紙のかわしだすやさしさ、穏やかさが好きで、刺繍したり模写したりしたい出があります。そして今、子供と過ごす中で、親しい人と

の語らいの中で、しみじみとその意味を実感し、ことばを思いおこすことで、よりいっそう喜びが増してくる自分に出会うのです。

そんなことから、十年前、偶然に仙川に移り住み、もつと多く先生の作品を知りたいと、息子と「新しき村」に出かけたり、記念館の方々と触れ合う中で、先生の言わんとする世界が、徐々に分かってくるような気がしております。

「新しき村」は、今も先生のご意向に沿って運営されており、もし未来において、宇宙ステーションに生活する日本人が、夢みる地球の人間らしい生活とはきつとこんなだろうと、ふつと思ってしまうほど、素朴で、純粹で、平和な村でした。

それから、実篤記念館の方々には、いつもよくしていただき、合わせて、「君は君 我は我也 されど 伸よき」などの言葉に触れると、つい排他的になりがちな自分の心に、人が人として関わっていく道筋を教えられたような気がいたします。

小学生の息子は、記念館へ行くくと、いつも年表を見て、先生が小学校の頃、作文が苦手だったという箇所を見て、まだまだ長い自分の人生に、可能性を見い出しているようです。

現在、新しく出版されている武者小路実篤全集を、読み進めておりますが、共感すること、教えられることが多く、なんとか最後まで読み切ろうと思っております。

（仙川町1）

出 会 い — あ る 日 曜 日 の 訪 問 者

● 堀 平 八

小鳥の鳴く丘には崖があつて
清水が渾々と湧き、そこに池を
つくり、その土地（上給八五〇
番地・現国領町7丁目）に家を
建て、私は住んでいた。

その頃、偶々ご夫妻らしいお
二人が——。男の人は着物羽織
姿、ソフト帽を被り、古ほっけ
た信玄袋を片手に、片方の手で
編傘を突きながら、黒足袋に擦
り耗った駒下駄履き、いかにも、
男性像豊かなる印象の持主。女
の人は皮製のハンドバッグを持

ち、髪はまん中にてわけ、後ろ
でまるめた形、黒系統の縦縞模
様の着物に名古屋帯をしめ、白
足袋、踵高の草履、見るからに
容姿端れい、高貴な女性タイプ。

このお二人が、今より三十四
年程前の昭和二十九年、春まだ
浅き或る日曜日的好天に恵まれ
た昼近く、私の家の玄関に近寄
つて来る姿を、庭で体操をして
いた私の目にとまった。

どこの人かしら、一体誰なの
かしら、判らない。その時、女



の人から慇懃に頭を下げ、今日
は、と挨拶があつた。私も今日
は、と返礼した。女の人は云う、
自然のお庭で素晴らしいですね
……と。いい乍ら四圍を眺めて
感嘆した様子。

その時男の人が私に近寄つて
来、私達は、朝から晴れた日曜
日なので、三鷹の方より途中タ
クシーで多摩川堤で降りて川べ
りを散策していましたら、遠く
から木立の中に家があるのが見
えましたので、二人で立ち寄り
せて頂くのではないかと話しな
がら自然と足が向いたのです。

実はお弁当をつかわして頂き度
いのです。おにぎりは持参して
いますけれど、お茶は持参せず
に家を出てしまいましたので、
厚かましくも、お茶のお呼ばれ
を乞いたいばかりに這入つて
参った二人です。私達は三鷹に
住んでいて、小説を書いたり絵
を描いたりしている武者小路で
す。（指を向け）こちらは妻の安

子です、と云はれたその瞬間私
はびっくり仰天。大変なことに
なった、と呟き乍ら、しばし、
言葉にならなかつたことは忘れ
もしない一齣である。本日はお
天気もよく、自然の情景の所で
すので、家の中ではなくこの庭
でお願いします、と云われた。

そして清水の池のほとりのペ
ンチにお二人で腰をかけ、池に
泳ぐ魚を見ながらご持参のおに
ぎりを召し上つた。一時間程の
間である。写真も撮らせて頂き、
アルバムに張り大切にしている。
——本当においしいお茶でした。
お蔭様でおにぎりもことの外お
いしく食べられたりして幸せの
日でありました。どうぞ私の家
にもお遊びに来て下さい。住所
はここです、と書き込まれた紙
を下さつた。その時先生は奥様
に、ここの情景は素晴らしい、
私達もここのような環境の所に
住みたいね……と、申された。

奥様は頷かれた。
この時から交誼が始まりずつ
と長い間お世話になり、ご指導
を賜りました私は、日本一の
幸せ者である。
今後皆様とも友情の度を深め

● 特集

乍ら、人知を求めて、何かをして、先生にご恩返しをしたい気持ち

持て一杯である。

(実篤記念館友の会会長)

武蔵野の安らぎ

● 檜森 満里子

仙川はよく観察してみると、奥の深い町だと思えます。五街道で有名な甲州街道、赤土で知られる関東ローム層、そして住宅街に一步足を踏み入れると、そこにあるのは『実篤公園』。

かの有名な武者小路実篤の住居があったと初めて知ったのは中学生の頃だった様な気がします。学校で強制的に行ったのが初めて、それからは文化祭の撮影、時にはくつろぎの場としても使用しました。

『実篤公園』は、武蔵野の面影を今だに残し、その上うっそうと茂る樹木、そして豊富な湧き水、このような恵まれた環境が、そこを訪れる私たちに安らぎと情緒を感じさせてくれるのだと思います。そう言えば、国木田独歩も、『武蔵野』という本で武蔵野の情趣を味わうことに

よって彼の苦悩を忘れようとしたような気がします。つまり、『実篤公園』には時代を感じさせない何かがあるのではないのでしょうか。

現在、東京では、あちらこち

実篤先生の教育論

● 佐々木 孝一

実篤公園を東西に分けるように幅の狭い市道が南北に走っている。実篤先生のご生前、この市道に面してお邸の裏木戸があり、その脇に半ば朽ちたような木製の大きなポストが架かっていた。先生はお庭を散歩のおついでにこのポストへ寄られ、束ねられた郵便物を取ってゆかれる。

らにビルが立ち並び、緑といふものの存在を忘れつつあります。仙川はだんだんと建物が増設されてはいますが、緑という点ではまだまだ恵まれている方だと思います。そういった仙川に、はや七年も通っている私は、仙川に感化されているような気がします。そして安堵さえも感じさせてくれる仙川がいつまでもこの雰囲気を守らないでいてくれることを願っています。

(桐朋学園大学短期大学部一年)

偶々この市道を散歩中、私は幾度かこのポストの辺りで先生にお逢いする機会を得、時にご挨拶がてら雑談を交わさせていただきました。幼い二人の子どもを連れていたので、雑談は子どもの教育問題になることが多かった。「親の言う事を聞かなくて困ります。」という私に先生は、「いや、子どもはそれでいいんだよ。人

間は自分の心に素直が肝要。親の言う事をよく聞く子が自分の心に素直であるかどうか。子どものしつけは、人間には、やりたくてもやってはならない事、やりたくなくてもやらねばならぬ事がある、人を傷つけるな、人の物を盗むな、嘘をつくな、このケジメさえキチンと教えれば、あとは親が保育の義務を果たし、子どもは自然のままに放っておけばいいんだよ。」という趣旨のお話をされた。文豪、画家、倫理家などといわれる先生はまた素晴らしい教育哲学者でもあったのである。

先生にお逢いの折、いささかいかめしいお顔の先生に対して、尻込みして私の背にかくれていた子どもたちも今は大学へ通う年頃になった。娘の方は最近、先生の著書をむさぼり読んでおり、実篤論でもレポートするつもりなのだろうか。

先生は大変な子ども好きで、毎年の自治会のお祭りの日には門を左右に開かれ、玄関までの奥行き長い坂道には水を打たれ、玄関の前で安子夫人ともどもキッチンと立って神輿を迎え

られていたのが印象的であった。神輿をかつぎ、山車を曳く子どもたちの元気な姿に目を細められていた。

起伏に富み、樹木の茂み、野鳥の囀りなどに恵まれる公園は、先生が青少年のために遺してゆかれた格好な教材ともなり、近

隣の幼・小・中・高校も大いに利用されるのが希ましい。(若葉町1)

実篤さんと私

●杉本三依

静かな住宅の中、緑に囲まれた実篤公園と記念館があります。駐車場にもこぼし、花みずき、さつきが咲き、目を休ませてくれます。

うに雄大で心の優しい人だったからいい作品がたくさん書けたのだと思います。その作品の中で、私は「君は君 我は我なり されど 仲良き」という言葉が好きです。

調布市に自宅と資料を寄附していただいとても感謝しています。私たち、皆んなが協力し

て、記念館と公園を大事に守り続けたいと思います。そして、記念館の前の広くてきれいな通りを『実篤通り』としたいものです。私の家の近くに実篤公園があり、家の前に記念館が出来たことを私は誇りに思っています。(昭和女子大附属昭和中一年)

「新しき村」の個性

●岡ノ上 栄二

別世界の中に入ると実篤さんの大きな手のレリーフがあり、私は必ず自分の手をその上にそつとのせ、大きさを比べます。そうすると心が通った様な気がします。六年生の夏休みには自由研究で『人間萬歳』を調べました。

ドア一つで自然の中にすいこまれていくと、大きな鯉が、大きな池でゆうゆうと泳いでいます。こんな風景を見ると、勉強の事も忘れ、心も体も和らぎます。

過日、埼玉県毛呂山にある「新しき村」に行く機会があった。「新しき村」については、武者小路実篤と「新しき村」という認識だけで、知識は皆無であつた。しかしその辺の観光とは違

って心の中に「かまえ」があつた事はたしかである。村長の渡辺氏に村内を案内してもらい、現在の村のようす、歴史、実篤先生の話をお聞きした。渡辺氏のなんの気負いもな

い淡々とした語り口に、心の中にあつた「かまえ」がだんだん消えて素直な気持ちで話しが聞けた。

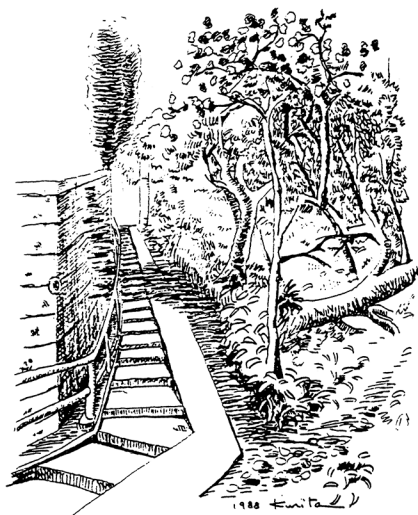
現在、毛呂山の村は、五〇〇人程の年令も性も異なる人たちが人間が人間らしく生きたい、という理想のもとに生活している集まりであるらしい。はたから見ると没個性的な生活を送っているように思うが、村民の幾人かの人との短い話し合いの中で、人間らしく生きたいという理想をもって生きている人の強烈な個性が伝わってきた。

個性を大事にというのがあまり、わがままとか勝手さまでも個性という名にすりかえて生活している人が、自分をふくめて現代はいかに多い事か——。新しき村的な生活態度は、人間の生きて行く基本的な衣食住について共有あるいは共同し、心については個性を尊重し、問題が発生した時は話し合いで解決するとい

う。現代社会の矛盾に、この新しき村的精神が少しでも対する事が出来ないのか。

(仙川町1)

● 特 集



「かぼちや」

● 宮川 和夫

『君は君 我は我也 されど 仲よき』——まだほんの小さい 時分に、この言葉をよく口遊んで いた。だがしかし、一体いつ の頃からだろうか、本当にこの 言葉が、身近に感じられる様 になったのは……。

新緑の香に、澄みきった空気を 胸一杯に吸い込みながら、私 は、実篤公園のすぐ脇の、少し 坂になっていいる道を駆け昇る。 今日もまた、燦々とした朝日を 体中に浴びて——。 そのまぶしさに視線を思わず

逸らすと、道の真中に浮き彫り された画がよく見えてくる。馴 染み深い、南瓜の画と、そして そばに刻まれた言葉。

小さな頃からこの南瓜の画が 家の中にあつて、何となく不思 議な気持ちで眺め、どこか魅か れてきた事を思い出す。

『君は君 我は我也 されど 仲よき』

一文字一文字、ゆっくりと言 葉を読み終えて、再び、走り始 める時にはもう、希望で胸を躍 らせている自分に気付く。

一歩一歩、踏み締めながら、 変化していく実篤公園に触れる

恋人たちの庭

● 加藤 純一郎

実篤公園は何を差し置いても 先ず、恋人たちに最もお似合の 庭である。恋人たちにはどんな 季節も極上の豊かさで満ちた庭 である。一人愛する人を想いな がら歩くもよし、二人手を取り 合つて歩くもよし。想像するだ けでも絵になるではないか。三

人だと難しいが心配は要らない。 四人ならペアを組み、奇数の人 数なら一人が案内役兼太鼓持ち になればピッタリである。街中 を歩くよりも遙かにお互いが素 晴らしく見えるに違いない。

初めて訪れた時にはグリーン のロープもなく、開園準備の最 中であつた。あれから十年、ど ことなく様子が変わり、今はま さに大きく変わりつつある。当 初は、武者小路氏が何故、どん な偉い方なのか、全く知らなかつ た。ただ凄い所に住んでいた

事を楽しみながら、走り続けた い。(仙川町1)

んだなあと驚くばかりであつた。 後にいくらかでも知るに及んで、 皆は子供の頃から知っていたと のことで啞然呆然。

訪れる度に森は森として石は 石として時を刻み、いずれ朽ち 果てるものと感じずにはおれな い。一つの土塊にも雑草の一本 一葉にも記憶があり思いがある。 自分の生涯で最も大切な人と此 処で語らつた事も、その時の草 木もまるで映画を幾度も見る如 く蘇る。寄りかかった梅の木 が一本いなくなつた。人はそれ ぞれに大事な思い出を作つてほ しい。

老いも若きもこぞつて恋人同 志で、愛し合う者同志で実篤公 園へ来られるべし。仙川一のデ ートコースにしよう。恋人たち の庭が待っている。

(狛江市)

● 特 集



しづく

本間 樹和子

しとしと

しとしと

雨がふる

ぼたぼた

ぼたぼた

記念館の屋根から

しづくがおちる

そのしづくを

ロビーからながめていると、

心は

世の中から隔離されたように

なる

まわりの音はなくなり

ただ

しづくの音だけがみえる

ロビーから展示室に入る

そこは実篤さんの生きた軌跡

実篤さんの精神の空間

その空間につつまれて

実篤さんにすこしでも

触れることができたら

まわりに人がいても

音はなくなり

ただ

実篤さんのみえない心が

きこえてくるような気がする

しとしと

しとしと

ぼたぼた……

そとは雨

そんな日 ひとり

実篤さんと向かいあう

かわいた心が潤ってくる

実篤さんの空間

私にとってそんな空間

今度は晴れた日に来ましょう

実篤先生と仙川

● 川口 三八

創刊の巻頭を実篤公園特集で飾ったタウン誌「せんがわ21」が、公園十周年を機に再び活動を開始され、「実篤と新しき村仙川フォーラム'88」と銘打って雑誌の発行、各種のイベントを企画されていると聞き、大変うれしく存じます。

武者小路先生の住まれた一帯は、昔は神明様と言う社があり、樹木がうっそうと生い繁り、清水が湧き、池には蒼い水が道路との間にわずかに生えた草にまであふれていて、子どもたち一人では遊びに行くのが恐ろしいところでした。

今も公園の中に南北に通じた小径があり、昔は鎌倉みちと言われた古い道路で崖線に沿って狛江や喜多見に行く近道でもありました。神明様には狐が住んでいて、この道を通る人を時々化かし、折角の酒など取られることがあったようで、お使いには一人では危ないので二人連れ

だって通ったようです。先生の家前の爺爺婆婆田圃も家が建ち、狐の住む風情はなくなりました。

仙川昌翁寺の境内に仙川俱樂部と言う青年団の集会場があって、その周囲にはたくさん梅が植えられ、青年団の大きな収入源になっていました。甲州街道がオリンピックの馬拉ソンコースに決まり、道路拡巾でこの梅の木も切られる運命にありましたが、山内緑風苑の紹介で先生に買い上げていただくことになりました。青年団の活動のためにとご理解をいただき、五万円という高い価を付けていただき、青年団の皆さんは大変よろこびました。

あの梅の木は邸内に植えられたのか、新しき村の梅林の一部になったのか、山内さんに伺ってみたいと思っております。

因みに当時の国道の用地買収価格は坪一万円でありました。

(仙川町2)

与えられた美ではない創りだしていく美しさを
なりゆきまかせの人生からすばらしいふれあいの生を
—ファッションをとおして
そんなことができないか、
と願っております。

ázi
FASHION
LIVE SPACE

調布市仙川町1-12-1 TEL 03(308)7264

丹波路 山路の露 栗ようかん 残暑お見舞申しあげます。

笹子見し幸巻餅の柔ら幸 汀女

御菓子司 光輪堂

若葉町 2-14-5 (和光堂横)

木曜定休 ☎308-1455

珍味、新鮮さで評判——築地・気仙沼より直送

〈四季の特別メニュー〉

- 春・磯の香りいっぱいの芽かぶ
- 夏・白魚のおどり喰い
- 夏・殻ウニ
- 秋・サンマの刺身
- 冬・殻がき(生食)

すしの磯春

〈出前承ります〉

京王ストア前 仙川プール並び
☎300-1710, 5002 火曜定休

トータルメンズショップ

紳士
取揃え
婦人

京王ストア仙川店駐車場前 ☎326-6301

紳士服

カンパコ

お電話下さい。



見積り、
採寸
ご相談
無料です。

●室内装飾専門店●

●内装工事

クロス(壁紙)張り替え、ジュータン、クッションフロア、パンチ等の敷込み、カーテン、ブラインド、アコーデイオンカーテンの取付け。

フェリカインテリア

調布市仙川町1-10-4
第2伊藤ビル1F ☎03-305-0028

時計、宝石、貴金属の店

玉晶堂



本店 仙川商店街中程 ☎ 300-4734
支店 つつじヶ丘店 ☎ 0424(82)-4221

~~~~~  
手作りの味  
~~~~~

自家製煮物漬物 新鮮塩乾物

アキヤマ

10:00 ~ 20:00 日曜定休
仙川商店中程 ☎ 300-6803

クリニカルシステムのパーマ、ヘアダイ

着付、アップ結上 受け承ります

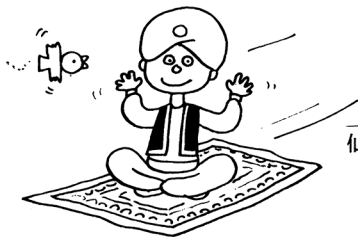
堀内多賀子美容室

仙川商店街東光電気 2F

9:00 ~ 7:00 火曜定休 ☎ 309-0676

世界の名品ペルシャ絨織直輸入の店

パシ ペルシャ キヤラリー



仙川町 1-25-22

仙川アベニュー

☎ 307-1745

楽しい お店で、夜の
ひとときを！



スコッチパブ

ねぶる

TEL 300-8111

芝信用金庫前

COFFEE SHOP

りん・ほふ

平日 8:30a.m. - 8:30p.m.

日曜・祭日 9:30a.m. - 8:30p.m.

定休日 毎月第2, 第3水曜日

〒182 東京都調布市仙川町1-11-4

電話 03-300-8220



月星特約店
世界の流行をリードする

靴の明治屋

仙川商店街中程 ☎ 300-1067

感覚カット&ベル・ジュバンスの店

健康美を創る 全身美容・フェイシャル

美容室



桐朋学園正門前 ☎ 300-8667

2F ハマナカ毛あみ糸 ダイヤモンド毛糸
Puppy パピー ユニバーサル手編糸
ニッケビクタ毛糸 オリムパス手あみ毛糸

1F 新作オリジナル
木綿生地ぞくぞく入荷
新しい手芸どんどん入荷
“つくる楽しさ
発信基地”

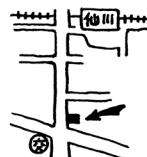
1F 手芸・もめん生地・和洋裁材料

2F 毛糸・刺しゅう・あみ針

なかや本店

調布市仙川町 1-15-28

☎ 300-6805



公園オーサンの十周年を迎えて

小嶋 重春

武蔵野の面影を色濃く残し、国分寺崖線の樹林と清冽な湧水のある、極めて自然に恵まれた当地に、実篤先生が昭和三十年、三鷹から移住され、以来二十余年お住まいになられていた。

あの独特な画風の名画も主にここで描かれたそうである。邸宅と土地を実篤先生夫妻のご遺志を継いだご遺族から市がご寄贈いただき、早速公園化にとりかかったが、公園化すると法例の関係で記念館を建設するスペースがとれなくなった。

市では隣接する土地の取得を図ったが、周辺も東西南北、ほとんど宅地化され、わずかに南側に農地が残存しているのみであった。

当時私は環境整備課長、現在の公園環境課長として公園化の諸仕事を担当していた。その造園仕事を請け負ったのが、現在再度公園十周年を記念しての改修仕事を落札し、十月竣工に向け施工中の富沢造園株式会社であった。「あまり仕事をやったような感じを出さないで施工すること」というむずかしい指示をしたのを覚えている。公園の開園は五十三年の五月十二日実篤先生の生誕の日であった。

今回の改修工事でも、また担当部長として実篤公園の自然感を壊さぬよう、ご遺族や関係者のお話しもお聞きして、使用資材や樹種まで細かくむずかしい注文をつけている。市の担当技師や富沢造園の社長も多分苦笑いを

していることだろう。

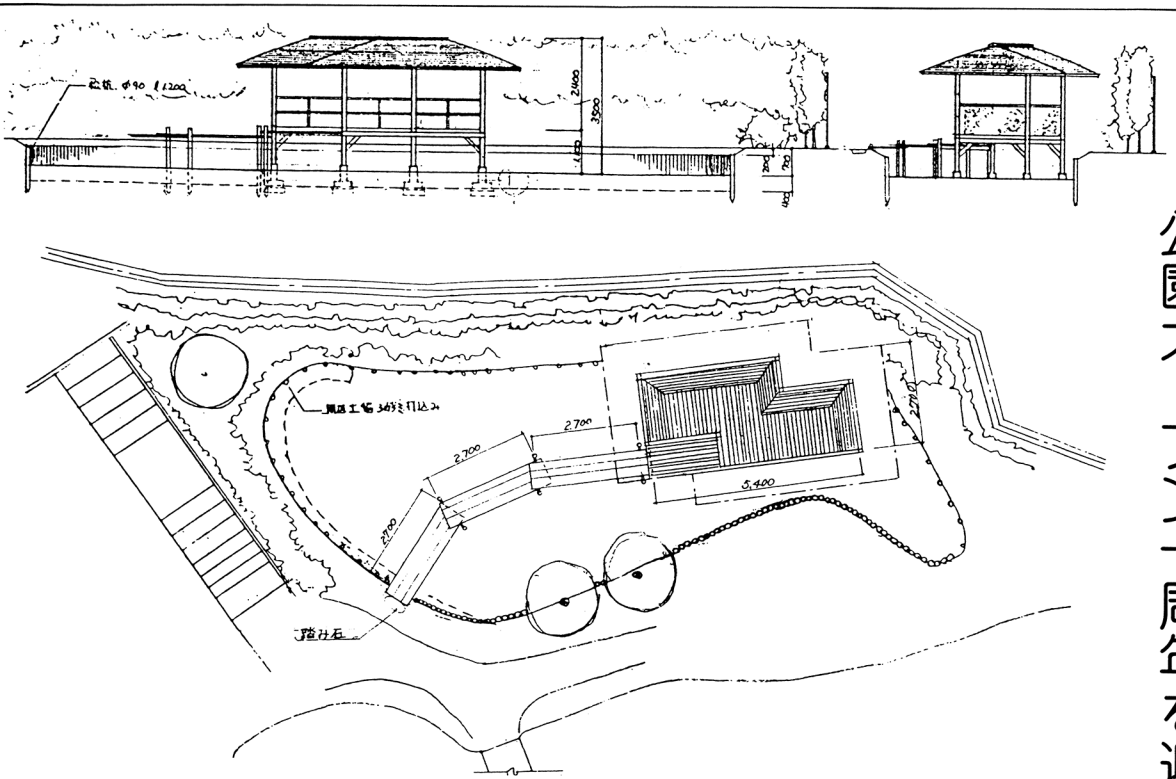
改修工事では、外柵、石垣、園路、池廻りの整備、樹木の補植、園内駐車スペースの菖蒲池化、記念館寄り、池の南側に多目的に使用を考えたアズマヤづくり等、総額五、七〇〇万の工事となっている。他に野草園の担当職員により昭和三十年代に自生していたといわれる十数種の野草等も植えることにした。

記念館もオープンして、はや三周年、多くの人から親しまれ好評を得、本当に嬉しく思っている。

私も因縁というか、愛着もあり、都市計画課長在任中、記念館の用地取得に取組み、昭和二十二年当時の農地解放の手續き未済問題を解決するのに手間どり、小田切進先生からお叱りを受けたことが、忘れられない思い出となっている。

幸い地主さんであった斉田さん、山内さんの全面的な協力をいただき解決でき、以後ご遺族をはじめ、実篤先生の関係者の方々や行政、建築関係者の努力でハイピッチで工事も進み、実篤先生の生誕百年、調布市制三十周年記念事業として、昭和六十年十月に完成開館のはこびとなったものである。

今後も、実篤先生の理想を体した、公園と記念館は、多くの人たちに愛され、調布市の都市文化にも大きく寄与し、市民の誇り、地域のシンボルとして充実し、維持管理をしていく必要がある、周辺の国分寺崖線の緑や屋敷林と共に、広い分野の関係者の方たちの理解、協力が市の行政により守られていくことになると思っている。(調布市生活環境部長)





あの街、この街、



みなさんのしばしんです。

● 地元のおひとりおひとりとの長いおつきあいをたいせつに、

明るい窓口でご奉仕を——これがしばしんの合言葉です。

しあわせ、一歩一歩

芝信用金庫

仙川支店 ☎308-8171

182 調布市仙川町2-21-10

心のふれあいを大切にします



ハートの銀行



● 調布仙川支店

東京都調布市仙川町3-1

電話 東京(03)300-3331

DKB 第一勧業銀行

★ 地元ご発展のために

● 手続き簡単 スピードローン

● 30万円50万円コース スピードカードローン

個人のご融資は——

東京相銀

仙川支店 TEL (308) 7331

心と心のふれあいを大切にします

ボーナス有利にグーンとアップ 最もおトクな

期日指定定期預金



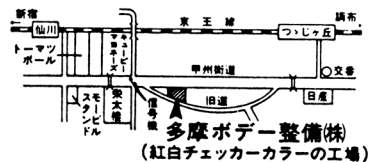
永楽信用金庫

仙川支店

☎326-7001 (代)

磨いてだめなら 塗り替えましょう！

解体部品装着OK！ 安く直ります



多摩ボデー整備K.K.

調布市東つつじヶ丘1-15-3 甲州街道滝坂 ☎307-6105



トニカツ ササ本



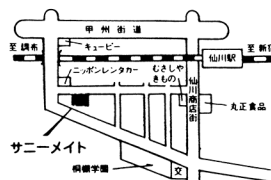
仙川商店街 永楽信金前

☎ 300-2661

サンドイッチとお食事の店



ゲリル サニーメイト Sunny Mate



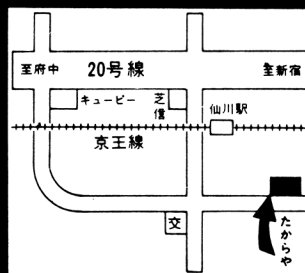
仙川町1丁目3番2号

☎ 326-0252

買入れと販売

たからや

営業時間AM10:00~PM9:00
調布市仙川町1-23-6 ☎ 03-308-7170



BOUTIQUE

伊奈河

仙川商店街通り南

☎ 309-5454

姉妹店

子供服

いながわ

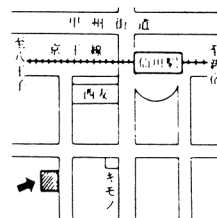
毛皮&ジュエリー

伊奈河

依能の味・ふるまの味 手打そば処



家族庵



桐朋学園通り

TEL 326-9456

営業時間

11:00~21:00 火曜定休

兄弟よ

武者小路実篤

兄弟よ、我等が本気にならなければならぬ時は益々近づいてくる。そして我等が本気になればなる程、我等の仕事は道が開けてゆく、この仕事は真心と本気さばかりで出来る仕事だ。兄弟の力がいろ／＼の方面から加はつて来てこの仕事は出来るのだ。

この仕事には国境がなく、階級がない、人間でありさへすればいゝ。赤裸々の人間としての価値がのこるばかりだ。赤裸々の人間となることを恐れぬものは我等の仕事に賛成すべきである。こゝではすべての人は一本立である。

自己の言行の責任は自分で荷ふ。自分の責任は他人には荷つてもらひたくないし、又他人に荷はせたくない。

真理の前には頭をさげる。正義の下には立つ。愛の前には涙ぐむ。しかしその他のものは我等に活用されても、我等を利用することは出来ない。

我等は少くも人類の上に足を立てゝある。人類よりも浅い処に根を張る運動に自己を委ねるわけにはゆかない。

我等は社会主義者からも、無政府主義者からも取るべきものとはつた。彼等に支配されるわけにはゆかない。

自分達は先づ自分である。

兄弟姉妹とは兄弟姉妹である。独立は失はない。自分の賛成出来ないことは賛成しない。

兄弟姉妹の爲にもしたくないことはしない。その代りしたいことは自ら進んでする、そしてよろこんでもらへれば望外の幸として感謝する。

たのまれて引き受けることはある、しかしそれも自分の意志によつてゐる。

よろこんで出来ることはよろこんでする。

苦しいことでもしなければならぬことは歯をくひしばつてもする。そのかはりしてはならないことゝ思つたならば、兄弟姉妹がなんと云つたつてしない。

結婚は自分達の意志である。

嫌ふとか、憎むとか云ふことは耻ぢる。しかし愛することの出来ないものは愛しない。

しかしその時でもその人の不幸の原因を自分で少しでもつくつたらそれは耻ぢ知らずである。

新しき村では公に捧げられた時間がある。それは兄弟姉妹の健全に生きる為、寿命を全ふする為、及び村の子供や病人、老人を卑屈にせず養ひ、天寿を全ふする為、及び村全体の光榮の爲めに働く時間だ。それは八時間を最大限度とする。

あとは自由である。自己の爲めに働く時である。その自己は低き自己であらうが、高き自己であらうが、他人に迷惑を与へなければいゝ。本当によき自己を生かしたものはやがて尊敬を一身にあつめるであらう。

新しき村の生活のまぢがいでないことは、もう説明は要しない。我等の確信と本気さと、真心の力の不足を気にするばかりだ。

この仕事か思ふやうに成長しなかつたら、それは我等の決心がゆるんだ証拠である。そのかはり我等の真心が本当に燃え上れば、大したことは必然に行はれるのだ。

自分は自分として自分一人の真心の力の不足を耻ぢる許りだ。もう少し、もう少し自分の真心が生きてくれ、ばと思ふ。兄弟の真心には感謝する。

自分は常に自分を反省する、どうもまだ力が足りない。自分の精神は暗を輝らす光りだが光りのとどく範囲がまだ十分とはゆかない。自分は自分の真心を決死的に生かす時が来つゝあることを感じる。

その点でも自分はもう二三年と思ふ。

自分はある人にマルクスのことのかいてある本を送つてもらつた。その勉強家の頭に頭がさがつた。カントのものを一寸見ても、そのかつちりさになほ頭がさがつた。

自分も之からである。

兄弟姉妹よ、君達も本当にかつちり勉強してほしい。新しき村の兄弟姉妹になつたために人間としてより立派になつてくれなければ、我等は人類に向つて耻ぢなければならぬ。

世界を動かさうと思ふものは容易ではない。我等は容易でない、浮かれられない道、永遠の道がかつちり歩かねばならぬ。

勝利はどうしても真理に近いものがうる。

又さうするやう我等の一生は費さなければならぬ。

一生を真剣に生かし切つたものは、恐ろしいことをする。(二〇、三、六)

出所 武者小路實篤全集 第四卷

生誕百年記念企画

武者小路實篤全集

全18巻



- 全巻にわたり、實篤文学の全仕事・業績を網羅し、その生成・展開を総括・展望し得るよう編成した。
- 既成の全集の二倍を越す作品を収録、三十年ぶりに刊行される決定版全集である。
- 底本は初版本・初出誌紙とし、校訂にあたっては原稿・初出・初版等の相互校合はもちろん、芸術社版・新潮社版全集をも参考にした。
- 表記は新漢字を使用した。仮名遣いについては、底本を尊重し、明らかな誤植を訂正するにとどめた。
- 第十八巻の書簡(五巻書簡は、白鷺の友、片岡健吉の、今回初めて全集に収録されるものであり、年譜著作年表も本全集で初めて正確・詳細にまとめられた。
- 編集に際しては、新しき村、武者小路実篤記念館(東京都)、日本近代文学館、実篤文庫(神奈川県)をはじめ、著者にゆかりのある研究者、評論家ほか、多方面の方がたの協力を得た。

◆ 書簡・原稿類をお持ちの方はお手数ですが左記に連絡ください。
小学館 武者小路實篤全集編集部 TEL:03(321)4310(直通)

昭和63年度へ友の会 入会のご案内

調布市武者小路実篤記念館「へ友の会」は昨年8月に発足いたしました。お陰様で当初予想した以上の反響があり、62年度の会員数は86名を数えました。会員になられた方々には、調布市内の方は勿論ですが、情報の届きにくい近隣の市町村や他府県の方も目立ちます。

「へ友の会」ではこうした会員の皆様のご要望に答えるため、10月より一月から一月半のペースで「へ友の会」ニュースを発行してきました。記念館の展示についてのご案内だけでなく、実篤関係の出版物や他館での展覧会などについても情報を提供しています。また、愛読書アンケートなど独自の活動も試んでいます。

さて、「へ友の会」ではただいま63年度の入会を受け付けています。会費は郵送料などの実費として、一般会員は千円、賛助会員は一口五千円です。入会に期限はありませんので申し込まれた日から翌年の3月まで会員となります。

申込み書ほか詳しいことは実篤記念館内「へ友の会」事務局までお問い合わせ下さい。



調布市武者小路実篤記念館 友の会会員証

調布市武者小路実篤記念館
調布市若葉町一八―三〇
電話〇三(三二)一八〇六四八

武者小路実篤

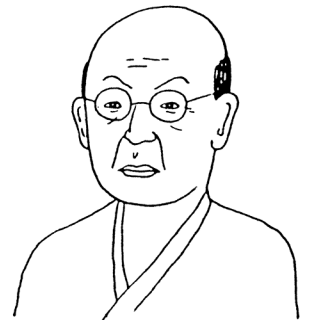
この人は小説家と書
 たが小説家と言ふ
 言葉でしるはれない
 哲學者思想家
 乃至宗教家と云つて
 もさぐはなない
 そんな言葉に
 導かれたところを
 此人は歩いた

中川一政 書

武者小路実篤略歴



大正7年(33才)

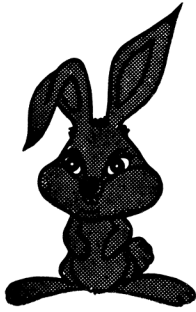


昭和34年(74才)

こやま きょうへい

- 一、明治十八年(一八八五)五月十二日、子爵武者小路実世の第八子として東京に生る。
- 二、明治四十一年(一九〇八)二十四歳で処女出版「荒野」発刊以来、八百余冊の著書と二万点と称される書画を残す。実篤に関する評論、解説は長短二千を越しているという。
- 三、明治四十三年(一九一〇)志賀直哉らと雑誌「白樺」を創刊。日本文学の新時代を招来し、不滅の影響を残す。
- 四、大正七年(一九一八)宮崎県に新しき村を創設、大正十五年末迄自らも村に住む。昭和十四年更に埼玉県毛呂山町にも第二の村をつくり、終生理想社会建設運動を実践した。
- 五、雑誌「白樺」による西洋美術の紹介はあまりに有名だが、大正十二年頃より自らも絵筆をとるようになる。昭和二年岸田劉生らと第一回大調和展をはじめ、二回で中止されたが昭和三十七年復活第一回展を上野都美術館で開催、後進の指導に当り、在野美術団体「大調和会」を設立、多くの新進画家を世におくる。(大調和展は現在も毎每年都美術館で公募展を開催している)
- 六、昭和十二年芸術院会員、二十一年貴族院勸選議員に任ぜられたが、同年C項該当で辞任。二十六年公職追放解除となり文化勲章を授与され、三鷹市名誉市民となる。二十七年芸術院会員に再選され、四十年東京都名誉都民となる。
- 七、昭和五十一年二月六日安子夫人逝去、同年四月九日満九十歳で、夫人のあとを追うように逝去。
- 八、晩年二十年を過ぎた調布市若葉町の土地と邸宅は調布市に寄贈され「実篤公園」として、九十二回の誕生日に開園、市民の憩の園になっている。先生が長い間に収集した書画その他は大部分が調布市に、一部は東京都近代文学博物館、東京都、三鷹市、新しき村に寄贈された。
- 九、昭和五十五年十一月 財団法人新しき村、武者小路実篤記念「新しき村美術館」を建設公開。
- 十、昭和六十年十月 調布市は実篤公園に隣接して「武者小路実篤記念館」を開設公開。
- 十一、昭和六十二年十一月 小学館より「武者小路実篤全集」十八巻の刊行開始。

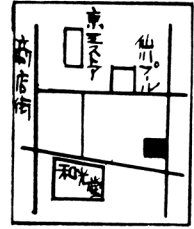
出所▽武者小路実篤記念 新しき村美術館 昭和63年



ファッションガード
ソフトな仕上り!

三愛ドライクリーニング

仙川町 1-33 (☎ 300-6763)



あなたの必要な情報を提供いたします

● 一般紙

朝日新聞

東京新聞

日本経済新聞

サンケイ新聞

● 折込、印刷、配布、取扱

● 朝日旅行代理店

調布市若葉町2-4-25 神代高校信号入る

(有)橋本新聞舗 ☎(03)326-4693

カラプリント

2時迄のが今日出来る店! —— 年中無休

サンライズなら
OKだ!!

スタジオ撮影

証明・オーデション写真
お見合・記念撮影

ビデオテープ / カセットテープ



4~5割引

京王線仙川駅前

☎03-300-6808

サンライズ 現像所

☎03-326-4116

ヨイイロ



生鮮食料品のビックストアー

新 宿

丸正食品 仙川駅前店

年中無休 10:00~22:00

☎ 300-1415

アダルトハウス キクヤ

アダルト紳士洋品専門店



ミセス ブティック

キクヤ

〒182 調布市仙川町1-11 ☎300-4835 (仙川商店街)

漢方薬・オリーブ化粧品

カワバタ薬局

調布市若葉町1-42

☎ 300-4980

友奥屋 精心堂

仙川商店街 電話300-4616



コーヒー専門店

商店街中程

AM10:00~PM11:00

☎ 308-9497

お気軽にご相談下さい

むさしや質店

仙川駅前森の中 ☎ 300-0627

佐藤精肉店

仙川商店街中央SSストアー

日曜定休 ☎ 300-6625

姉妹店 もめん製品、もめん生地、手芸用品



SSストアー奥 桐朋学園正門通りSSビル1F
コットンハウスベル ☎ 309-5620

そば・うどん 専門店

野州茶屋

京王ストアとなり ☎ 307-4584

21世紀を創造するこどもたちへ
こどものアトリエ

はちの巣

目黒はつ枝

仙川駅から歩いて5分

世田谷区給田1-9-22 ☎ 300-3616

オーディオ&ビデオ ナショナルショップ

あなたの街のあなたのお店

サトウデンキ

仙川商店街中程

☎ 300-5016

寿司・割烹・うなぎ

大 鮎

仙川商店街

宴会(30名まで)承ります ☎ 307-7678~9

ハクビ京都きもの学院

仙川教室

生徒募集中 / (トーマツボール内)

毎週木曜日 10:00-12:00 14:00-16:00

夜の部 / 予定有

入学金 2000円 授業料 3000円

維持費(3ヶ月分) 1000円

御申込みは ☎ 309-5014

実篤 讃——その魅力

日隈 久典



私が実篤先生を敬慕し、私なりに先生のことを勉強することとなったきっかけは、昭和三十四年、私が小学校五年生の時でした。

父が書店から朝日ソノラマを購入し、私がそれを貰い受け、そのソノラマを聞き、内容の偉大さに感動した時からです（父も実篤先生のファンでした）。

そのソノラマの中に『友情』という作品があり、先生がその作品を物静かなしかもやさしいお声で朗読された時、その途中で涙声になられながら朗読を続けられたお人柄に深く感銘したことが昨日のようなできごとのように思いだされます。

また、あるテレビ局から生放映された『人に歴史あり』という番組を見ましたが、この番組は実篤先生の「若き日から現代まで」という先生の偉大な歴史でした。

この放映はゲストをお迎えして座談会の形式で行なわれ、ゲストの方もいろんな方々が出席されて行なわれました。

その生放映中、確か八木アウンサンサーだったと記憶しますが、誠に恐縮し気まずそうに「志賀先生のご出席を予定していましたが、気が向かないのでということ欠席しますとの連絡がありました。」と実篤先生にお伝えすると、先生は、「彼はそういう人ですから。」と、淡々としておられまし

た。

私はその時、お二人はお互いにそのようなことがいえる、本当に心を許しあった固い友情で結ばれていることを推察し、うらやましく思いました。その出来事は終生忘れることはできません。

また、実篤先生の執筆された本は他の作家に比べ、数においても周知のとおり、数多く出版されております。これらの作品をお一人で、と思う時、この点をも含め総ての点において頭が下がります。私自身、先生の作品を読むだけでも半分に到達していないのが現状であります。

このほど実篤先生の全集が出版され、私も全集を何回も何回も読むことで実篤文学を学びとり、私なりに把握したいと思えます。

私自身微力ではありますが、先生ゆかりの地三鷹市牟礼に記念館を作りたいとの夢がありました。そのため二十数年にわたり暇をみては神田に行き、先生の資料の分散をより少なくしたいとの考えから初版本、原稿等の収集に努力してきました。

幸いにも、調布市が昭和六十年に記念館をお作りになり、私自身非常に嬉しく思っています。

私にはまた、次のような思いがあります。先生のてい装の本を一冊手に取って、文人画の絵にひかれてしまいました。さらには肉筆の色紙を入手した時の感動で一日中嬉しくて嬉しくて眠れな

い夜を過ごしました。

また、私は先生の詩も大好きです。先生の詩は老若男女総ての人に理解され愛され、今はむづかしい詩（言葉）の本がありますが、先生の詩は永久に愛される詩であると考えます。

調布市で近々西洋文学ゴッホ展が行なわれるとのことですが、『太陽』という本に次のようなことが書かれていたことがありました。それは周知の人、棟方志功氏が自分の作品が大金で売れた時、第一番に買ったのは日本一大きい額であり、その額は余りにも大きかったので玄関のタタキにおかれ、来客が出入りに困る程のものであったそうです。その額には実篤先生の肉筆で、「この道より我を生かす道なし この道を歩む」との文章があり、これは同じ西洋文学のゴッホ作『ひまわり』との共通点があるとして尊敬されていたそうです。私の先生を慕う心は、自負心かも知れませんが、誰にも負けないと思えます。

最後に、「神様になってしまおうものではなく身近におられる先生になってほしいと思います」と、中川一政先生の言われたこのお言葉をおかりしてこの稿を終りにしたいと思います。

「この人は小説を書いたが小説家

と言ふ言葉で縛られない

哲學者 思想家乃至宗教家

と言つてもそぐはない

そんな言葉に縛られないところを

此人は歩いた」

——中川一政先生のお言葉から

TEA ROOM

白い壁に藤の花
映るい「おひらけの園」
へせみ どうぞ へ

チャティー・ずう

仙川商店街通り(西友前) ☎308-9278

各種出張パーティ料理承ります。

中国料理 2階洋間40名様・3階和室55名様・特別個室10名様



龍鳳苑

仙川商店街中程

☎300-8063

プラザ・ギャラリー

近日オープン!

プラザ・ギャラリーは書画、彫刻、工芸、
ご利用いただける画廊です。
デザイン等の個展、グループ展に

—お問い合わせ—

仙川 Avenue

豊洲ハウジング・プラザ

☎03(300)1010
FAX 03(305)7491

ehime

Elégance
boutique

CHOFU SENGAWA 1-12-12 TEL 326-2476

モッテ 畠村 額縁

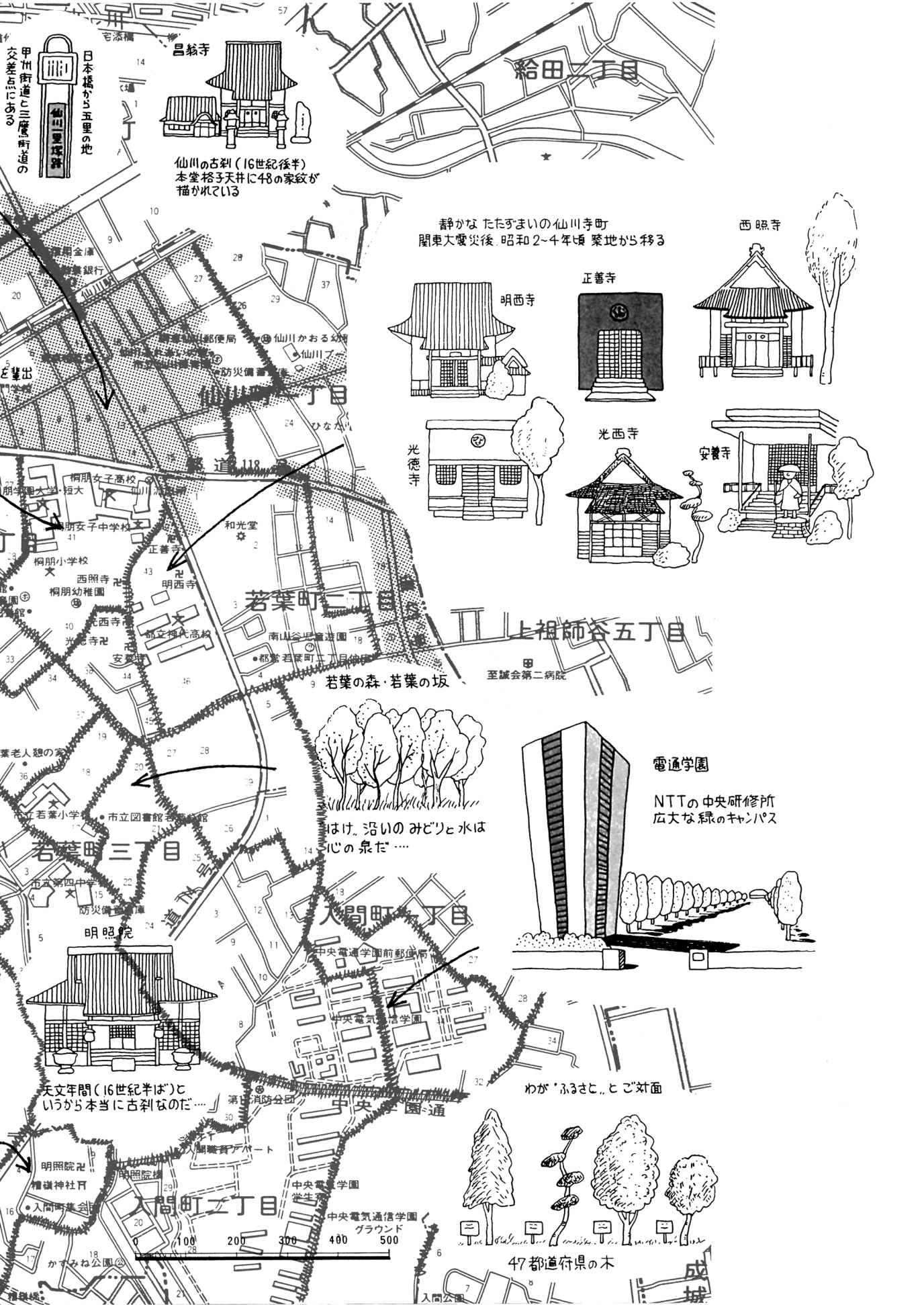
お蔭様で15周年を迎えました

☎300-8287



1988 Furita

山川実篤の杜



日本橋から五里の地
仙川聖塚跡
甲州街道と三條の街道の
交差点にある



仙川の古刹(16世紀後半)
本堂格子天井に48の家紋が
描かれている

給田五丁目

静かな たずまいの仙川寺町
関東大震災後 昭和2-4年頃 築地から移る

西照寺



正善寺



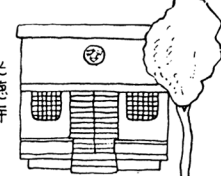
明西寺



光西寺



光徳寺



安養寺

若葉町三丁目

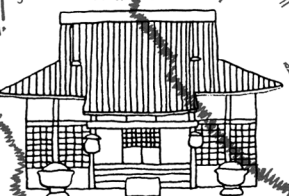
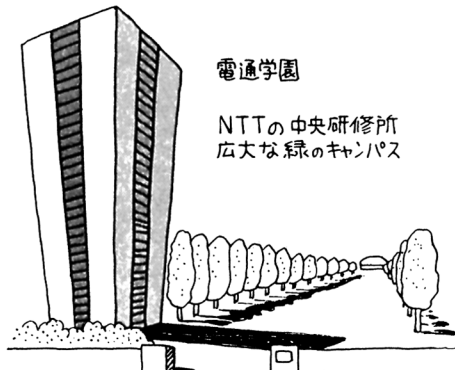
上祖師谷五丁目



はげ、沿いのみどりと水は
心の泉だ...

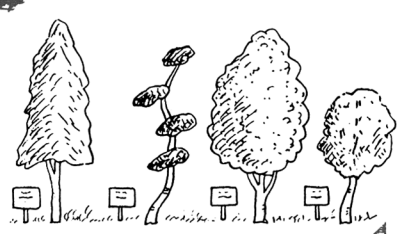
電通学園

NTTの中央研究所
広大な緑のキャンパス

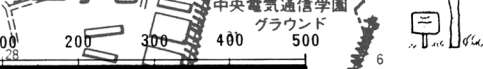


天文年間(16世紀半ば)と
いうから本当に古刹なのだ...

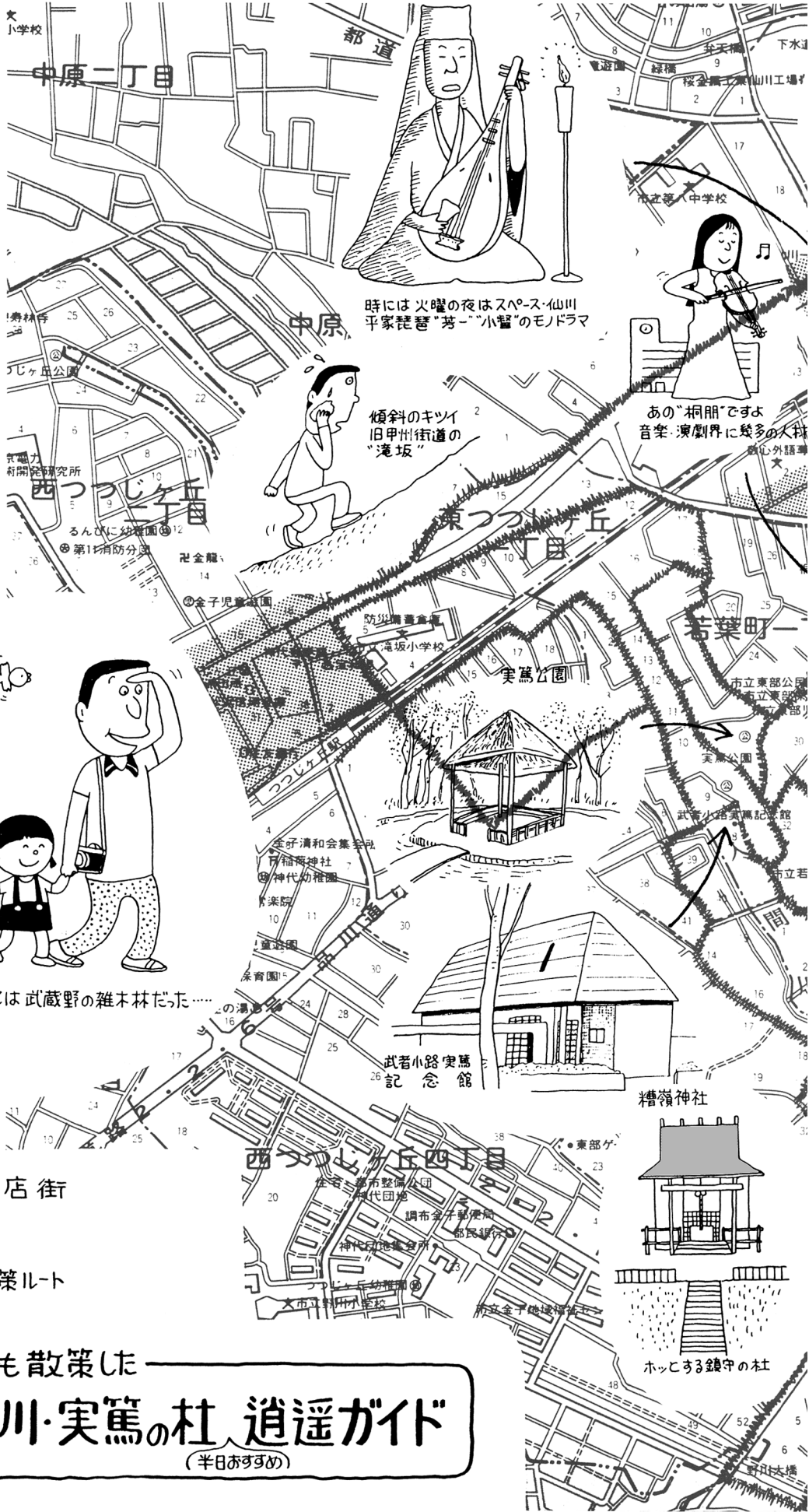
わがふるさと...とご対面



47都道府県の木



成城



時には火曜の夜はスペース・仙川
平家琵琶“苺”“小智”のモロドラマ



あの“桐朋”です
音楽・演劇界に幾多の人材
熱心外語専攻



傾斜のキツイ
旧甲州街道の
“蓮坂”



横断歩道を渡るころは武蔵野の雑木林だった……



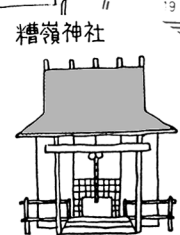
商店街



散策ルート

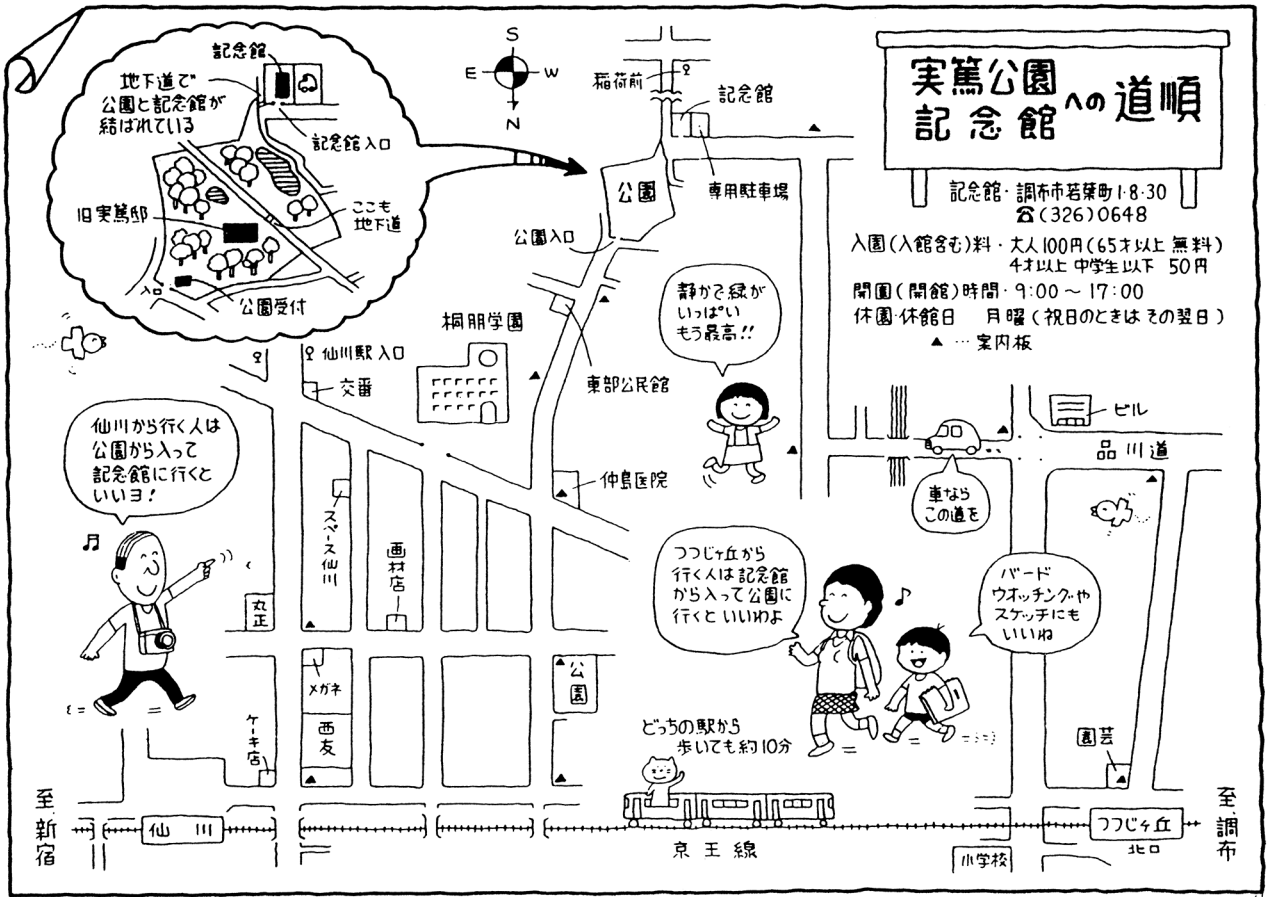


さんも散策した
仙川・実篤の杜 逍遥ガイド
(半日おすすり)



糟嶺神社

ホッコる鎮守の社



スペース・仙川火曜劇場

- ◎毎月第1火曜日 —— “小督”
- ◎毎月第2~第5火曜日 —— “耳なし芳一”
(但し1月・8月及び祭日 —— 休演)
- ◎開演 —— 午後7時30分(開場7時)
- ◎料金 —— 前売(電話予約) ¥1,000
当日 ¥1,300

小劇場 スペース・仙川

東京都調布市仙川町1-12
TEL. (03)309-1422
(京王線・仙川駅より3分・桐朋学園前)



* 問合せ・予約 = (株)新樹
☎(03)307-6015 (AM9:30~PM5:30)

スペース・仙川企画

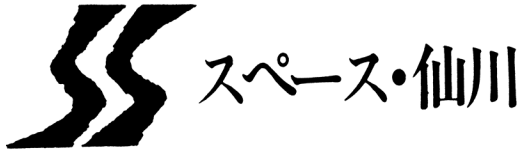
中央一人芝居

琵琶モノドラマ

耳なし芳一 / 小督

—— 平家物語異聞 ——

アートセンター



仙川町1-12 (桐朋学園正門前) ☎ 309-1422

—ギフトコーナーのあるお店—
贈って喜ばれる美味しい高級ハム



仙川
伊藤ハムショールーム
みやうち

SSストア内 ☎ 326-3489

/ 高級婦人服地 /

QUEEN
MODE FABRIC
クイン

仙川通り(西友前) ☎ 308-3819

夏のクリアランスセール開催中

MEN'S
ツカモト

仙川商店街中程 ☎ 300-6707

食事と酒処



仙川駅線路際
午後5時～深夜1時 日曜定休 ☎ 300-2879

CANTINA イタリアン・レストラン



仙川駅前
第一動銀向い

TEL 308-6221

おいしいお茶と海苔の専門店

- 都内無料宅配 (含む三多摩地域)
- 地方発送承ります

お茶と海苔 仙川商店街中央・藤屋ビル1F ☎ 307-7288
やまりや
金山利吾

資生堂・コーセー・アルビオン

りきや化粧品店

仙川駅前 中央商店街 TEL(300)8024

はり・きゅう・マッサージ

仙川鍼灸院

大竹秀男

仙川交番筋向かい、渡辺ビル2階

調布市仙川町1-15-31 ☎ 03-309-3314

MAXFACTOR

カネボウ化粧品
ソフィーナ

エンケル 黄蘗液

けいけいかしんごん
恵命我神散

漢方薬
くすり

仙川商店街中央

☎ 300-4660

広田薬局

日本書道教育学会（文部省公認） 仙川支部

中野朗子 号・麗泉 珪子書道会

教室・世田谷区給田 3-23-20 ☎ 309-2885

どんな編機でも自由 手あみ 機械あみ

生徒募集中

あみもの教室

講師 山田久子

つつじヶ丘教室（月・水・金） ☎ 309-6333 呼

緑ヶ丘教室（火・木） ☎ 309-4721

BOUTIQUE

cheval



SENGAWA 1-4-24 ☎ 326-8323

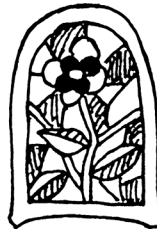
☆☆☆光と色彩のきらめき☆☆☆

○ニュー ステンドグラス○

店舗・ビル・住宅の

新しい雰囲気づくりに！

（窓・扉・照明・鏡・贈答品などなど）



アリエ・梓 ☎ 300-2330

受注製作・趣味の教室も開いております
世田谷区給田 3-14-12-102

住まいづくりのことならなんでもおまかせ

東京都知事許可 般57第5933号

佐藤工務店

建築士 佐藤 満

仙川町 1-23-41 ☎ 307-5457
FAX 307-2360

フルーツショップ



しみずや

仙川駅前 ☎ 308-5177

Anchor Here
AND
COIL UP YOUR ROPES
SINCE 1977



ICHIKAWA BLDG. 1F
1-12 SENKAWA-CHO CHOFU-SHI TOKYO
TEL. (03) 307-2611

日本テレビ・週刊文春にて紹介されました

味の店

とんかつ油川

各種宴会40名様迄御相談下さい

仙川駅前東国書林横 ☎ 309-0144

美しい歯と歯肉の健康のために

イチカワ歯科

仙川クリニック（仙川駅2分） ☎ 03-308-8241
曙橋クリニック（都営線曙橋駅2分） ☎ 03-357-2266
広尾クリニック（地下鉄広尾駅3分） ☎ 03-486-8266

パーマ（カット・ブロー付）

¥3,500より

毛染（ブローセット別）

¥1,000より

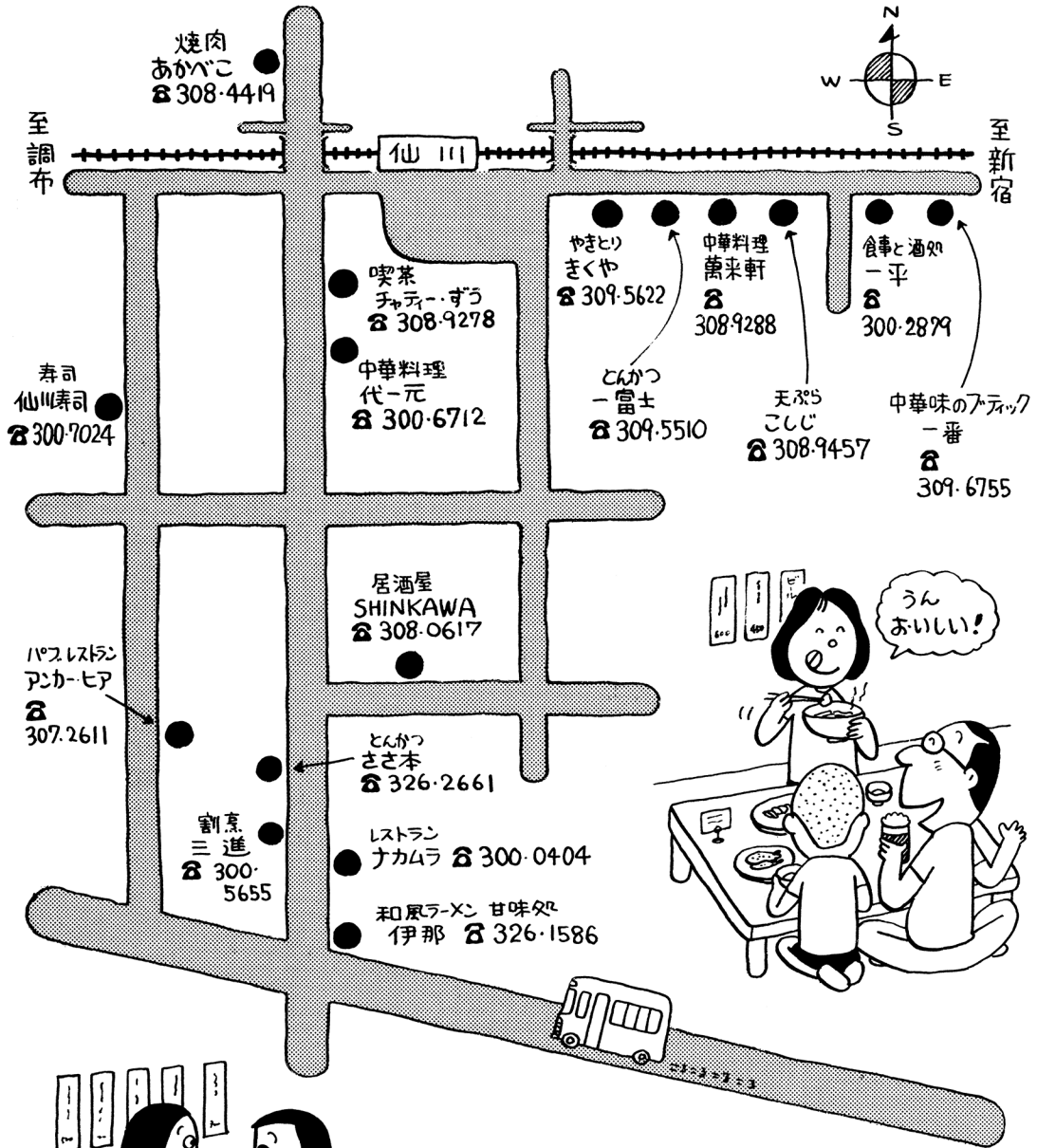
美容室

サンタロサ

仙川商店街 ☎ 309-6806 第4火曜休

祝 実篤公園10周年 記念館3周年

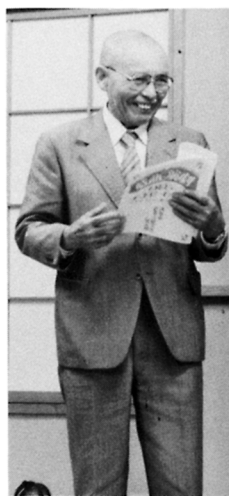
新しき村創立70周年



仙川うまいもの会

新しき村の七十年

渡辺 貫一



大正七年（一九一八）「新しき村」の仕事が
はじめた時、私はまだ小学生でした。「新し
き村」の存在を知ったのは、それから約十年
経った昭和三年で、その一年位前、武者小路
先生を知り、強く惹かれるものがありました。
武者小路先生（以下武者小路と略す）が「新
しき村」をはじめられたのは、三十三歳の時
ですが、先生は既に新進作家として地位を得
ておられました。先生の胸中には文学者とし
て自分を生かし切りたいという強い内からの
要求と、人間が誰でも生活の心配なく、自己
を生かし切れる社会をつくりたいという願望
が共存していたわけで、そういう社会につい
ての感想を書いているうちに自然と実行に入
ることになったわけで、それが「新しき村」
です。

「新しき村の精神」という六ヶ条の文章があ

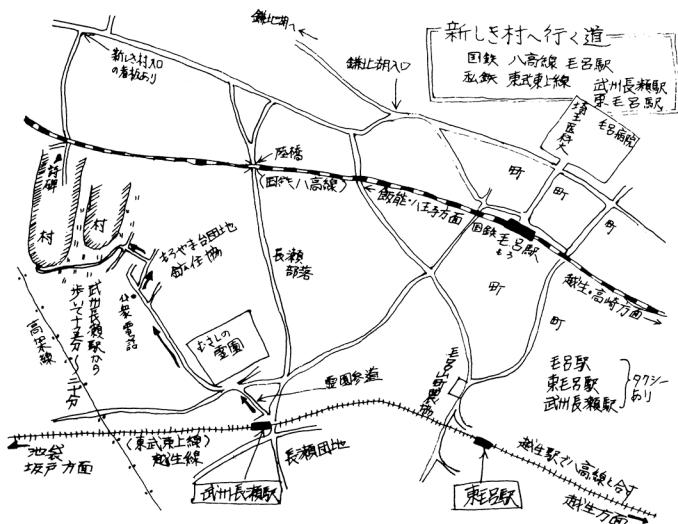
りますが、それも第一条の「全世界の人間が
天命を全うし各個人の内にすむ自我を完全
に生長させることを理想とする」に要約される
わけで、もっと簡単に言えば、「自他共生」の
社会ということです。これは人間である以上
誰もが望むことだから、そういう社会はみん
なが本気になってやればできないことではな
いと思っただけですが、理想社会の最初の基
盤である、衣食住その他の確保だけでもなか
なかな思うようにゆかず、先生は村の収入係と
して、四〇人前後の共同生活の必要経費の半
分以上を先生の筆一本で生み出すことになっ
たのです。

「新しき村」では創立の時から、実際に共
同生活をして村の建設に当たる会員と、一般
社会の生活をしながら物心両面に村の仕事に

協力する会員があるのが特色ですが、いろい
ろな事情が重なって先生は村外会員になられ
大正十四年の暮に、一年間は奈良に住み、翌
年東京に出られました。しかし先生と村の関
係はほとんど変わらず、先生自身は盛んな文
学活動を続けながら、村の経済の不足分に責
任を持たれ、またこの頃から画の方の勉強に
も熱心になりました。

私が村外会員になったのはその頃で、有楽
町の駅の近くに、「新しき村の会場」というの
をつくって、村の会の美術展、演劇活動など
を盛んにやっていた時です。私は役立たずの
村外会員でしたが、先生をはじめ見上げる相
手ばかりでしたから随分勉強ができました。

村の方は、先生が村を出られたことで少し
ずつ人は減りますが、農業の方は地についた
仕事振りになり、開田も進み、また一時電燈



埼玉県入間郡毛呂山町葛貫423
 〒350-04 TEL 0492-95-4081
 財団法人 新しき村

が灯いたり、印刷所ができていたりして、自活への見当も着き出した所へ、宮崎県営の発電所が出来ることになり、面積では三分の一たらずなのですが、一番生産力のある土地が水没することになったのです。それが昭和十三年で、戦争中のことで反対できる状態ではなく、補償料も三〇〇〇円ばかりでした。

二十年の経験と、東京中心に村外会員が多かったことで、東京附近に新しく村をつくることになり、日向に二家族が残り、東京に二

家族が出、他は一時、村を離れることになりました。

東京の私鉄会社から土地の推せんがいくつもあったのですが、今の村の土地が、諸経費を含み十アル三〇〇〇円位で買ったのと、村外会員が東京から日帰りて手伝いにゆける、ということを決まったのです。最初は山林一ヘクタールあまりを買って近所で家を借り、通いで開墾をはじめたわけです。しかし段々戦争がはげしくなり、日向の村は二、三年で一家族になり、埼玉の村も一九年秋に一家族になり、昭和十五年に集会所としてつくった「増田荘」に移り住んで終戦を迎えました。

戦後になると日本全体が一八〇度の方向転換をするわけですが、いわば「新しき村」の理想が日本の方針になったようなものです。村の我々にとっては、尚のこと村しかないというわけで、東京支部中心に活発に動き出し、まず子供のいない僕ら夫婦が入村することになりました。二十一年の四月、私達と他の一家族が入村し、三家族、十七人でいわば再出発しました。水田と開墾畑が各五〇アル、山林一ヘクタール、大人は八人でした。極端に生産力が落ちていたので、百姓をしながら毎晩のように買い出しに出る始末でした。いろいろな変遷を経て、昭和三十三年、村が出来て四十一年目によく自活(経済的独立)が出来ました。四十年も自活しないでつぶれなかったのは先生がおられたからですが、熱

心な大勢の村外会員の協力もあり、外からはどう見えようと、私たちはいつも希望に燃えて村の仕事を続けていたのです。

長い時間をかけて村の基礎固めをし勉強して来ただけに、一旦自活が出来ると、それからの十年は文字通り日進月歩の状態が続き、村内の生活者は四倍の五〇人を超え、週休制六時間労働で、共同農業のモデル視されるようになり、またそれぞれの部門の担当者は、第一級の技術者になりました。その頃は村の精神に関心をもつ見学者と農業方面の見学者は半々という状態でした。それが「新しき村」満五十年、先生が八十三歳の時で、東京の文京公会堂を満員にして盛大な記念祭が行なわれました。

その頃から私は今の村が一〇〇人になることを想像して、具体案を村の雑誌に発表したりしています。それは老人、子供をまじえてですが、現状に照合して考えると一〇〇人になると、村の自立に必要な労働力よりも、少なくとも一〇人位の労働力が余る勘定になるのです。そうなれば地域の農業の協同化や進歩のために直接働いたり、文化活動のために専門的なチームをつくったりすることができるようになるし、条件が整えば第二の村をつくるために、一度に四、五人がそちらへ移っても平気という状態が生まれて来るのです。一〇〇人というのは一つの数字に過ぎませんが、要するに村が立派に自立した上で、労働力に余裕が出来なければ、「新しき村」として

本当に世界的な働きが出来ないわけです。私は、「新しき村」がモデル的な存在であるだけでは——それでも十分な意義はありますが満足できないので、私たちがつくりあげたこの小さな理想社会に、新しい力がどんどん参加して、この仕事をより世界的なものにしていくことを熱望しているのです。そのためには村外会員も、今の何百人では仕方がないので、少なくとも何千人にならなければと思っています。

村の現状……

最後に村の現状を簡単にお話して、皆さんからのご質問なり、ご意見なりをおききして、それについてお話しを進めたいと思います。

現在、村の土地は一〇ヘクタール、借地五ヘクタールであり、農業規模でみると水田が四ヘクタール、畑が三ヘクタール位、推茸が原木八万本位、梅が一〇〇本余り、その他桃、ユズ等若干と、茶園が七〇アール位。採卵鶏が約五万羽（他に育成鶏二万五千）乳牛一〇頭（育成牛とも）です。収入では養鶏が二〜三億円—これは卵価次第で大きく変わります。推茸が一千万円前後、梅六〇〇万円前後、米、茶、牛乳、野菜などが村内消費が多いので七〇〇万円前後、農業外収入としてやきものが五〇〇万円前後、美術館が二〇〇万円前後、村外会員会費は二〇〇万円前後、寄附は五〇万円前後です。

「新しき村」七十年略年表

- 一、大正期——大正七年十一月十四日宮崎県木城村^{きじょう}字城^{じょう}に土地きまる。二・五ヘクタール余。第一年は十七人、以後大体四〇人前後で高い理想と困難な現実と戦う情熱の時代。十五年、実篤奈良へ。
- 二、昭和十三年村の一部水没まで——人数は少しずつ減るが農業は地に着いたものとなる。十年がかりの大水路が一応完成。開田も進み、果樹園も出来、印刷所の仕事も軌道にのる。十三年九月宮崎県宮^{みや}ダム建設のため状況一変。この間に実篤の外遊あり、東京支部の活動盛ん。
- 三、埼玉の村建設から終戦まで——昭和十四年九月十七日埼玉の村開墾式。最初の土地一ヘクタール余の山林地。川島、野井の二家族を中心に開墾を進める。後、水田、山林地各五〇アール余を得。戦況徐々に深刻になり、終戦時は日向も埼玉も一家族であった。
- 四、自活（経済的独立）達成まで——昭和二十一年三家族で再出発。昭和三十三年自活達成。二家族と独身者で十四名。東京九段会館で四十周年を祝う。飛躍への準備整う。
- 五、五十年間まで——この十年は日進月歩。村内は五〇人を越え、経済も安定、労働問題もほぼ理想的な形となり、建設時の理想が小さい村ながらも現実のものとなる。
- 六、五十年以後——六十周年迄は生産設備の拡大を進め人員も六〇名となるが、以後は入村希望が減少し現状維持の形となる。その代わり経済的安定度を増し、美術館、生活館などをつくり住宅改造、新設を進める。村の美化を一つの課題としながら次の飛躍に備え、真剣な若い力の参加を待っている。

（文責 渡辺貫二）

普通の年でこれを所得で見ますと、養鶏で六千万円位、耕種農業で一三〇〇万円位、農外収入が預金利子ともで一千万円位あり、これは文化活動費と土地や美術館の基金にしています。

六〇人前後の広義の生活費が、年間六千万円前後ですから、普通だと養鶏収入で生活でき、耕種農業の収入は、借入金返済や、生活の向上費、基金の積立に廻せます。

私は、農業で六時間労働(年間平均)週休制で、経済問題から解放されて、各人が自分の好きなことに打ち込める生活が現実のものになっているのは、世界的にもあまり例がないのではないかと思っています。「新しき村」は小さいながら、共同の力で一つの理想社会(福祉社会)を実現したものだと思っています。

〈質問に答えて〉

Q 村の七十周年には、どういう企画を？

A 東京での大きな催しは先生の生前、五十年祭が最後でした。その後は埼玉の村で、近所の人たちへの報恩を兼ねて、毎年九月創立記念祭をやっています。今年も毛呂山町の福祉会館を借りて何かやる計画があります。

日向の村でもやるようですし、御当地で実篤記念館が開館三周年、実篤公園が開園十周年ということ、村の七十周年と併せていろいろ計画しておられるので、それに出来るだけ

協力します。

その他、すでに新しき村美術館の新しい図録を出版配付していますが、他にも有効な記念出版も計画しています。

Q 共同するメリットは？

A 炊事場、風呂場が一つで足りること、機械や設備の利用が効率的に出来ること、仕事が専門的になりながら統一がとれること、などが第一にあげられますが、我々にとつていろいろな経済効果以上に、自他共生が日常生活の中で自然にできるということが最大の喜びです。

Q 村外会員というのは？

A 村での労働は農業しかなかったため、他の仕事をしたい人とか、健康や家庭の事情とかで村へ入れない人は沢山いるわけで、そういう人は世間で一般の仕事をしながら、村の仕事に協力します。そういう人を村外会員と言っています。村外会員は会費(一ヵ月五〇〇円あるいは三〇〇円)を納め、村から機関雑誌などを無料で受けとります。その他には特別の定めはなく、寄附を割り当てられるようなこともあります。これが村外会員の最低の義務ですが、先生のような村外会員もいますし、村は今までに何回もいろいろな危機に会いましたが、そういう時には不思議に村外会員の力で危機を脱して来ました。

自活が出来た迄はずっと生活費の援助を村外に頼りましたが、自活が出来た後は設備の拡張資金なども村外会員の責任で借入金でま

かっていますので、村外の援助はずっと土地の購入基金などに積みたてられています。

村外会員にとって村外会員は物心両面の心の支えであり、村外会員にとっては、村があることで人生に希望がもて、社会の醜い争いにも絶望せずにすんでいるのが事実で、僕なども村がなかったらどんな人間になっていたか知れません。

Q 村に入れない人がいたのは何故？

A 個人の事情は前に話しましたが、村に入つて居候の形になっては困るわけで、村の方の仕事や住居の関係などもあります。老人子供の存在や、病気や、直接収入のない仕事もあり、天災その他もありますから、大体一人の生産的な仕事で二人分以上の収入が必要というのが大ざっぱな見当です。土地の関係も大切で、最近の日本の農業では、一家族当たり五ヘクタール程度が必要とされていますので、今の村の土地では三家族と独身者で三〇人程度がやつのわけですが、比較的土地の要らない養鶏が大きくなったのと、やはり共同の効果が生きて、六、七〇人は今の規模で生活出来、人数が増えればこれから農業以外の仕事を増やしていきます。それでまたいろいろな人が入れるようになると思っています。

Q 村も高齢化の傾向にあると思いますか、村独自の保障は考えていますか？

A 村は人間の共同の力でお互い保証し合っているわけで、新しい人が全然入ってこなければ心配になりますが、そういうことはあり

得ないと思っので心配はしていませんが、多少のことは考えて実行しています。

村の人は男女新旧に関わりなく、生活費に関係のない個人費を、毎月三万円宛分配されていますが、その他に六〇〇〇円ずつ共同預金にしています。この形は二、三十年来続けています。これは財団の経理とは別に「村友会」というものをつくって、いろいろに利用しているわけです。六五才以上の者は年金を受けていますが、これも金額「村友会」に入れ、その代わり死ぬまで働いている人と同じに個人費や特別個人費（年間一〇万円位）も分配されるようになっていきます。一昨年からこの老齢年金の半分を「高齢者対策基金」として別に積立てをはじめました。

Q 渡辺さんのことを皆さんはなんて呼んでいますか？

A 村内では大体の人が「貫二さん」です。村内に他に渡辺が二人いて、二人とももう三十年近くになるので、お互いに名前前で呼び合っていたので、後から入ったものもみなそれを

帰りなんいざ、田園はまさに荒れなむとするに、何ぞ帰らざる。陶潜の帰去来之辞を讀んだ頃、僕は身体の中が、ある種の精神と行動の一致へ向けて模索し収斂しつとあると

踏襲しているわけです。村外の会員はみな渡辺さんですが、中には「おやじさん」などもあります。

先生は親しい会員はほとんど苗字だけで呼んでおられたが、僕は文学も絵もやらなかった故かなかなか君がとって貰えなくてね。晩年の数年間、やっと「渡辺」と言って貰えるようになってうれしかったですよ。村の会員同志では、先生と言えば武者小路先生で、他の先生には苗字をつけて呼ぶのが普通でした。

Q 仙川との関わりについては？

A 仙川には、先生が最後の二十年をすごされ、私も何百回もお訪ねしていますし、ある意味では生まれ故郷以上の親しみがありません。実篤公園ができ、実篤記念館ができたことで、いわば永遠の関係になったわけですが、今度皆さんが記念館と村と仙川を一体的に結びうとする運動をはじめられたことは、大変嬉しいことです。

(仙川フォーラム準備会第三回(4/26)における渡辺氏の講義録への加筆)

「帰去来」

松田 省吾

き、二三歳頃だった。都会は、都会でなければできないことをしつかりやってしまえばよかった。両親に既に先立たれてしまっていた十八歳で函館から家出して住みついた東京。

(財)日向新しき村
☎0983・39・1139

羽田→宮崎空港 バス 10分 → JR宮崎駅 JR 30分 → JR高鍋 タクシー 30分 → 村
タクシー 1時間20分

●日本カーフェリー 日向市 日向市 日向市 日向市
川崎 → 細島港 バス 5分 → JR日向 JR 40分 → JR高鍋

たくさんの人々が居るけれど、人間の寂しさを誰もが抱えている都会。自分はいかなる働きを持つべきか、いかなる日常を望んでゆくべきか。止まり木暮らしよりも、その止まり木自体が根を張っているような生活は自分には無いのか、ああ、心がはつきりと喜べる処はないのか、知らなすぎるの多いところを豊かに学べるところはないのか、と想うのだ。

山と山とが讚嘆しあうように
星と星とが讚嘆しあうように
人間と人間とが讚嘆しあいたいものだ

武者小路 実篤

実篤（尊敬するがゆえに呼び捨てる）が新しき村を興した境涯の真髓を表わしていると思う詩。ひとりの詩人にひとつの詩があればよい。ひとりの読者にひとつの感動があればよい。本当の感動は一生涯にひとつでよい。あまるぐらいただ。つらぬいてその人生の面目を尽くせばよい。

その頃、働きながら夜学を卒え教職の資格を取得したが、免許の紙片一枚に何ほどの実力があろうか。これは入口で、本当の勉強はこれから、それができるかできないかが大事。玉川大学の通信教育に学び、勉強の上積みをはかった。小原國芳先生は《全人教育》を掲げられていた。これにも参った。立派な人物に出会えてうれしい。しかも武者小路実篤師と小原國芳師は互いに旧知の独立人同志であった。頭と心への刺激はいただけだ。それを

「新しき村」再評価

「新しき村」再評価

今 防人

六月末の各紙は、六年間、腎透析治療を受けてきた五一歳の日本人男性が、フィリピンで四人の腎移植手術を受けたことを大きく報じた。この男性は、あっせん業者に一括して一、八〇〇万円支払い、このうち八〇〇万円が手術費、入院費などで、四人（の家族）に払われたのは一〇〇万円以下、残りはあっせん業者の手に渡ったと言われている。

念頭に、こんどは身体を自然に放りこんで、
「日日新」が実際に日日新であるか。人間は実際に「生長」するものであるのかどうか。
「全人的学習」ができるものかどうか。本当の意味で人間尊重ということかどうかにして持ち上がってくるのか。僕は村の生活で学びたくて入村の許しを村に乞うた。ありがたい。

自然を真につかまえて得ているのではなくても自然と、自然は己れを自然と呼ぶせる力がある。呼ばなくても応え、悲しんでもそこに在る静かて果てのないものに包まれて。ほら樹々の葉っぱが俺を見ているぞ。地面が支えているぞ。空気が鼻から出入りするぞ。精神と言ひ意志と言ふ、それ自体が美に発する如きものがあるのを覚えるとき、自然に学びくいこんでゆきたくなるのだ。

定期的に透析を受けなければならない患者の苦勞やわずらわしさは本人や家族でなければわからないかもしれない。ある人は、貧しいフィリピンと豊かな日本の縮図を指摘するかもしれない。

しかしながら、問題は金の力にもものを言わせて、生きていく人間の臓器を買い取るわれわれ日本人の心にある。人に腎が二つあるの

はそれなりの意味があるからであらう。なにも一方を換金するために備わっているのではあるまい。

現在、日本は未曾有のもの、の繁栄の時代にある。ものが悪いと言うのではない。ものを使うところが衰弱し歪化している点が悪いのである。一口に言うならばエゴイズムである。

エゴイズムは個人のものとは限らない。家族、郷党、地域、国家、人類でさえエゴイズムの餌食となるからである。

われわれが、この生体腎買い取り事件を聞いた時の驚きと憤激の背後で

「フィリピン人は貧しく可哀相だ」

「日本人でよかった」

さらには

「日本人は勤勉でフィリピン人は怠けものだから」とか、最終的には

「しよせん、金さ」というシニカルな声をつぶやいてはいないだろうか。

さて牢獄なく国境のない世界を目指したロシアの文豪・思想家トルストイの影響を受け、「新しき世界」「新しい社会」の建設に七十年前に着手した武者小路実篤は、他人を犠牲にする自己の繁栄も、自己を犠牲にする他人の繁栄も、拒否した。なぜならば、前者は搾取、後者は自己欺瞞に他ならないからである。詮じつめると、それはエゴイズムの解決策と言ってもよいであらう。もちろん、エゴイズムの裏返しであるアルトルイズム（利他主義）

の拒否でもあった。

武者小路実篤が若者たちと草深き日向の地に「新しき村」建設に踏み出した時代は、さまざまな時代であった。療原の火の如く全国に燃えさかった米騒動、シベリア出兵、第一次世界大戦後の不況。そして、現在に比べることもできないくらい低い生活水準、極端な貧富の差。

しかしながら、当時の「新しき村」の記録を読むと、不思議と貧窮、ギリギリの生活を内容とする記事は少ない。これは確かに一部の批判書が指摘するように、この集団の芸術至上主義によるものかもしれない。しかし根本的には実篤のもの、ところについての洞察にあったように思われる。ものほとするところを蚕食し圧倒する、時代はしだいにものが支配的になってきていると、彼は見通したのではなからうか。

工業化が進行し産業社会がその姿を現わすにつれて、社会問題、労働問題をますます、

世人につきつけてきた。しかしながら、しかるが故に、ものに流されてはなるまい、ものところの調和がはからねばと考えたのであろう。

「新しき村」に後年、経済的自立を重視する考えが強まった時、実篤はその性急さを戒しめて「村が自立しても旧い村になっては困る」と述べたと言われる。もともと実篤がそのために「村」に投じた金は何億にも上る。おびただしい小説、エッセイ、そして絵は資金稼ぎでもあったわけだ。

ころはものに左右されるからものの変革が第一だとする社会主義思想が大正末から昭和を支配してきた。しかしながらへ衣食足りて礼節を知るゝが、ものの溢れている日本でも、ものがころを支配すると考える国々でも実現しない事実をわれわれは眼のあたりに行っている。

ものを軽視するのではない。またへ貧しくともころが豊かならば」という支配者の論理に加担するのではない。実篤流に言うならばへものもころも」と言うことにならうか。われわれは思想的にものを偏重してきたようである。ころを正面にすえて両者のバランスをとる必要がある。

「革命はいついかなるところでも可能である。民衆がその意欲をもつならば。」

——グスタフ・ランダウアー

(流通経済大学社会学部教授)



元気な野菜たちがいっぱい!
ぜひ一度 御来店 下さい!

自然食品の店

ほうすいえん

スペース仙川横
仙川町1-13-16 Tel.326-2356

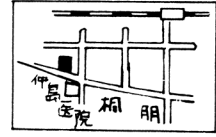
着付け、レンタル衣裳承ります

美容室 **LERNE**

第2なかよし広場

〒182 調布市仙川町1-3 ☎ 308-5582

やさき屋



仙川町1-3-38 ☎ 300-2360

輸入工芸品 室内装飾品 雑貨 衣料 民族楽器

モッタ **MOTTA**

桐朋学園横 調布行バス停前 ☎ 308-1849

遊んでいる本は有効に生かしましょう

古書 訪文堂書店

桐朋学園通り ☎ 308-6455

コピーサービス ファクシミリサービス

CD ビデオ レンタル

友&愛仙川店

YOU and I

ピポット仙川2F

☎ 305-2277

FAX 305-2280

BOUTIQUE
左岸
SAGAN
TEL. 03-307-8448

ボクにも キミにもできる



リピット

山田屋金物店

西友ストア前
☎ 300-4407

カジュアル ファッション

レギュラーサイズ・Lサイズ

ブティック **たげ屋**

オリジナル手染コーナー大好評
商店街駐車場横 ☎ 305-0838

あなたのえらんだ花を全国にお届けします……。

フラワーアレンジメント 生花・園芸

有限会社 **イシケン フローリスト**

(24時間受付)

世田谷区上祖師谷5-31-11 TEL 308-1951

聖教新聞 仙川販売店

仙川町2-11-23

☎ 307-7343

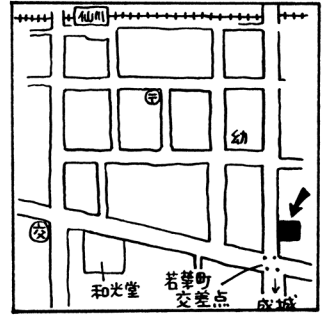
診療時間・AM9:00~PM7:30

・日、祭 午後休診

仙川獣医科病院

〒180 調布市仙川町1-34

☎03-300-4927



松の木蔭でまどろんでいる少年達

あれは

デ・ジヤ・ヴィ、おんみつのガラスの器の凍れる滴が ツキササッタ

甘み処

氷おんみつ おみつまめ せめて涼味とはないちもんめ

よしきり

仙川町1-16

300・8481



健康管理のために指圧・マッサージ

福德治療院

治療時間AM 9:30 ~ PM 7:00

仙川駅徒歩1分西友ウラ

☎ 326 - 1985

うなぎ蒲焼

煮物

西洋弁当

焼物

鈴 仙

幕の内弁当

揚物

仙川商店街・東京相銀前

☎ 326 - 4455

広げよう "実篤と新しき村" の輪!

広げようパチンコの輪!

絶好調!

パチンコ

コトブキ

京王線仙川駅前

☎ 309 - 2531

(大晃ハウジングもよろしく)

実篤さんと仙川と

新しき街づくり

——仙川フォーラム88の発足にあたって——

「泉と池のある地」を求めて、三鷹市牟礼から仙川に移ってこられたのは昭和30年、実篤さん70歳の時でした。そして、「ここを仕事場兼仕事完成の地として選んだわけで……今のところここで死ぬつもりでいます」昭和40年「調布の一市民として」との言葉どおり、ここ仙川の地を「終の住処」として賞で、世の激しい移ろいにもかかわらず、界隈を武蔵野の面影そのものとして残していつてくれました。

今年、公園オープン10周年、記念館開館3周年、そして新しき村創立70周年という節目に当たり、地元仙川のまちでも、何かせねばと有志の話し合いが昨年の秋頃から始まりました。この一月、村の新年会に参加するとともに、「実篤と新しき村」の記念事業についての懇談を毎月重ね、四月に活動母体として「仙川フォーラム88」の結成をみました。

●開かれ、遺されたもの

昭和51年2月に安子夫人、4月には実篤さんが90歳で天寿を全うされた。そして遺族から、自宅と愛蔵品が調布市に、近代美術品と文学資料は東京都に、一部は新しき村、三鷹市等に寄贈された。まさに「共有のものとし

て「開かれ、遺されたものに、いかに対し、どう受けとめたらよいものだろうか……」。

昭和52年春、「新しき街・せんがわ、今日そして明日」と題する小さなまちシンポジウムが地元の東部公民館で開かれた。メインテーマは「実篤公園の活きた運営を考える」ということで、「新しき街の鎮守の杜に」哲学堂としての実篤記念館を」といった提案がなされた。いずれにしても、実篤さんの、新しき村からの「志の継承とは」をめぐって議論を深める必要があるという認識でした。

●新しき村＝世界をつくる

……彼にとって文学をやるうと思ったのと、新しい世界を生み出したいと思ったのとはほとんど同時である。それは彼の双生児である。「或る男」

「実篤記念」とは、やはりこの二つ、彼の創作活動と新しき村運動の両者を記念・紹介すべきものといえよう。そのためには、作品の展示という静的な場と、新しき村の志の継承という動的な空間が求められます。

後者についてみれば、5月第二日曜日の「実篤誕生祭」は現在も続けられ、また11月第二日曜には「新しき村」創立記念祭が仙川でも催されている。全国から集まった人達が、公園、記念館を散策した後、東部公民館の広間に集まり、村の赤飯を食べながら懇談の時をすごす。これらの場合は、現在やや内輪の集まりとなっているが、村の写真展、美術展や生活展を併わせて開催したり、講演や寸劇を加

えて、「新しき村運動」の積極的な紹介の場となしえるはずだ。



実篤さんを慕う人達は、村の内外会員や友の会員だけでなく、全国にわたり、各分野に多数おられる。また、小学館版の全集刊行とともに、日々新たに關心ある人達が生まれています。日向や埼玉の村という根拠地だけでなく、講演会や例会には、仙川、調布辺りは地の利を得ているといえます。実篤公園・記念館は一調布市(民)のものでなく、有志の者にとって、「共有のもの」として開かれ続けていく場であることを十二分に心しなくてはいけないと思います。

●志の継承としての記念事業を



さて、周年となる本年、調布市や新しき村の記念事業とともに、地元・仙川のまちが主体となるイベントを目下企画中です。「実篤と新しき村そして街」をテーマに、規模は小さくても、ピリツとした全国レベルのシンポジウムも秋には開きたい。「新しき街・せんがわ」をキャッチフレーズにして、ささやかなまちづくりをすすめてきているが、仙川のみならず全国のむらやまちで、「新しい社会づくり」の哲学やヘソが求められているといえましよう。「志の継承」という視点から、とにかく現実社会と相渉り、実篤さんの哲学・社会運動面にも大胆な光をあてたいイベントにしたいと念じております。

有志の方々のご教示・ご支援とご参画をお願いする次第です。(青野友太郎)

カレンダー ('88.4 ~ '89.3)

新しき村	商店・町内	学園・大学	仙川フォーラム
<ul style="list-style-type: none"> 花の会 (合同慰霊祭) (4/10) 	<ul style="list-style-type: none"> わざわ座12周年記念公演 (4/17) 		<ul style="list-style-type: none"> 新しき村訪問 (第2回) 仙川フォーラム '88スタート
<ul style="list-style-type: none"> 武者小路先生生誕103年祭 (5/8) 於東部公民館 渡辺兼次郎作陶展 (5/1~10 宮崎市) 			<ul style="list-style-type: none"> 公園・記念館道順マップ発行 「“実篤と新しき村” 周年記念イベント—ご参画・支援の願い—」配布
			<ul style="list-style-type: none"> 仙川木曜会第1回 (7/21)
<ul style="list-style-type: none"> 労働祭 (8/8~14) 	<ul style="list-style-type: none"> おらほせんがわ “これが祭だ。” (仙川商店街(協)) (8/1~3) 		<ul style="list-style-type: none"> 日向新しき村訪問 仙川木曜会 (8/18)
<ul style="list-style-type: none"> 新しき村創立記念祭 (9/18 毛呂山町) 新しき村生活美術展 (9/1~30 於生活文化館) 	<ul style="list-style-type: none"> 八幡神社秋の祭礼 (9/14,15) 	<ul style="list-style-type: none"> 電通学園「納涼祭」 (9/3 16~20時) 神高祭 (9/17,18) “心到新・深・神高祭” 	<ul style="list-style-type: none"> 仙川木曜会 (9/15)
<ul style="list-style-type: none"> 収穫祭 (10/16) 	<ul style="list-style-type: none"> 糟嶺神社例大祭 (10/7, 8) わざわ座秋まつり (10/16) 	<ul style="list-style-type: none"> 桐朋女子高 (10/1, 2) “桐朋童夢” 白百合祭 (10/22,23) 	<ul style="list-style-type: none"> 仙川木曜会 (10/20)
<ul style="list-style-type: none"> 新しき村創立記念祭 (11/13 東部公民館) ミニコンサート (石川杉子他) (11/13,14,15 石河内, 木城町, 川南町) 		<ul style="list-style-type: none"> 桐朋大学祭 (11/2~4) 	<ul style="list-style-type: none"> 仙川木曜会 (11/17) 新しき村と街—交流サミット (11/20予定)
<ul style="list-style-type: none"> 忘年会 (12/17) 			<ul style="list-style-type: none"> 第3回仙川音楽祭 (12/3 予定) 仙川木曜会 (12/15)
			<ul style="list-style-type: none"> 仙川木曜会 (1/19)
			<ul style="list-style-type: none"> 仙川木曜会 (2/16)
			<ul style="list-style-type: none"> 仙川木曜会 (3/16)
<p>才14回 瀬下四郎油絵小品展 <small>財団法人「新しき村」70周年記念</small> 9月4日(日)→10日(土) ギャラリー 枳 <small>11:00→18:30 最終11:00 銀座2-11-6 (542)7196</small></p>			

“実篤と新しき村” & “まちニティ”

区 月 分	調 布 市 / 記 念 館		調 布 市 (図 書 館 他)
	展 示	普 及	
4 月	春季展 『長与善郎と実篤』 3/11~4/24	・展示解説(4/10 武者小路穰) ・色紙作製・頒布	
5 月	特別展 『戯曲と演劇』 4/29~6/19	・特別展パンフ発行 ・展示解説(5/28 祖父江昭二)	
6 月		・記念講演会(6/14) 『武者小路先生と私』滝沢 修 ~講演と「その妹」の試演~	
7 月	『実篤・美術遍歴』 ゴッホの向日葵と実篤 6/25~7/31	・展示解説(7/10 武者小路穰)	
8 月	夏休み特別企画 『人間萬歳』実篤の生涯 8/9~9/4	・展示解説(8/21) ・子供向けパンフ配布	
9 月	秋季展 『一筋の道』~実篤の文学 9/9~10/23		●ブッククラブ “白樺派文学を学ぶ会” ——自然主義文学の全盛時、武者小路、志賀らが唱えた運動は、文学のみならず芸術文化思想から生活全般に及び、“新しき村”創設に至った。実篤を中心に白樺派の人と作品を学んでいる。 ——ご参加下さい—— 例会▷毎月第2土曜 1時半~3時半 講師▷池内輝雄氏 大妻女子大教授 申込先▷中央図書館 ☎0424-81-7661
10 月		・展示解説(10/2) ・会報No.4 発行	
11 月	開館3周年記念特別展 『新しき村 70年の歩み』展 10/29~12/11	・ミニコンサート(11/5 石川杉子) ・新しき村生活展(11/11~13 於東部公民館) ・記念シンポジウム(11/13 於桐朋学園) ・新しき村見学会(11/15) ・随筆詩歌等募集 ・特別展パンフ発行 ・落書帳文集発行・講演会記録集発行	
12 月	『所藏品』展 12/17~1/29		
1 月		・展示解説	“劇団わざわ座”へのおさそい 劇団わざわ座は、芸事なら何でも、やりたい人、見たい人、聞きたい人が集まってお遊びをする集団です。どなたでも自由に参加できます。お年寄りを主体としますが、若い人、子供さんも大いに歓迎いたします。一切無料。 稽古：毎週土曜 午後6時~ 公演：4月・10月第3日曜 午後2時開演 (劇団わざわ座第3日曜劇場)
2 月	『我が家の実篤作品』展 仙川篇 2/3~3/12	・展示解説	会場：スペース・仙川 03-309-1422 問合せ：吉田央舟 03-309-3855 調布市仙川町1-12 仙川眼科
3 月	春季展 『実篤 油彩画展』 3/17~4/23	・展示解説 ・館報No.5 発行	

●周年記念イベント 企画案●

“実篤と新しき村” 仙川フォーラム’88

●第一回 記念シンポジウム

“実篤と新しき村70年”

- 〔朗読と演奏〕 桐朋学園大学
- 〔講演〕 実篤の生涯と新しき村70年
大津山国夫氏／千葉大学教授
- 〔講演〕 コミュニーションの承譜からみた新しき村運動
今 防人氏／流通経済大学教授
- 〔講演〕 村の精神と生活～70周年に明日を想う
渡辺 貴二氏／新しき村
- 〔質疑と討論〕 大津山、今、渡辺の各氏を囲んで
○日時 11月13日(日) 13:00～16:20
○会場 桐朋学園
○主催 実篤記念館 ○共催 仙川フォーラム’88
○後援 新しき村 桐朋学園 他

●第二回 サミット’88と交流パーティー

新しき“村”と“街”の交流サミット

- 〔講演〕 街に生き、村に生きる～新しいライフスタイルの勧め
藤本 敏夫氏／自然王国連邦協議会代表
- 〔講演〕 帰去来～日向新しき村に、今生きて
松田 省吾氏／日向新しき村
- 〔対論〕 実篤空間とライブ都市・仙川
末吉 保雄氏／桐朋学園大学理事
橋口美代子氏／画家
- 〔報告〕 新しき“村”と“街”から
○宮崎県川南町から 遠藤威宣氏／若者連絡協会長
○埼玉県毛呂山町から 渡辺兼次郎氏／新しき村
○千葉県我孫子市から ○地元・仙川から
- 〔パーティー〕 バーベキュー野外パーティー
演奏 桐朋学園大学
○日時 11月20日(日) 13:30～19:00
○会場 桐朋学園／滝坂の杜 (パーティー)
○主催 仙川フォーラム’88 ○共催 実篤記念館
○後援 新しき村 桐朋学園 仙川青友会 他

●第三回 ライブコンサート

第三回 仙川音楽祭

- ゲスト 吉田央舟(ヒク)他
- 日時 12月3日(土) 19:00～21:30
○会場 桐朋学園大学
○主催 仙川フォーラム’88
○共催 桐朋学園大学
○後援 新しき村 仙川青友会

〔目下、企画進行中で一部変更あり〕

“実篤と新しき村”
周年記念イベント

〔企画ポイント〕

- 単発的、個別的なイベントではなく、1年間にわたる継続的かつ有機的なつながりを持つこと。
- 仙川の地区レベルの催しとともに、市レベル、都レベル、全国レベルでの催しも企画する。
- 調布市(公園、記念館、市長部局)、(助)新しき村、記念館友の会及び地元(仙川を中心とする)において、各々の主催による各種事業をお互いに尊重するとともに、共催・後援等の連携・協力を密に行う。
- さらに、実篤全集刊行(小学館刊)と重なるグッズ・タイミングであり、全国のいろいろな機関・団体、個人との新たな連携が可能となるような開かれた、かつ積み上げ方式・ネットワーク型の事業

- 展開、運営を行う。
- “実篤”と“新しき村”の複合的テーマの中で、文化・芸術的側面とともに、“志の継承”という視点からの哲学、社会運動的側面にも大胆に光をあてる。
- つまり、仙川や調布における明日の“新しき街”づくりの“ペソ”捜しという、現実社会と相渉るものとする。
- また、実篤公園及び記念館の活きた運営とさらには将来の財団法人等の独立化への展望を探る。
〔事業プログラム(案)〕
- “実篤と新しき村”に出会い、知るために!!
●公園・記念館への散策の勧め・マップづくり
●講演及び朗読の夕(全)
●感想文コンテスト(小・中・高対象)
- “実篤公園と記念館”のある街・仙川を売り出す!!
- マップ(記念館道順/散策マップ)―各人各店で配布
●PR誌(せんがわ21号外)―各人各店で配布
●実篤の杜ネットワーク整備
●おみやげグッズの企画・制作
●感想文コンテスト(全国版(調布市・小学館共催) 実篤ゆかりの“新しき村と街”との交流を!!
●新しき村毛呂山、日向、安孫子市・姉妹まち・むら宣言
- 物産品の交流
●交流シンポジウムの開催
- 秋に、実篤記念の“仙川芸術祭”の開催!!
●市及び“村”事業への協力
●学園祭との連携(桐朋、白百合、電通学園)
●独自のシンポジウム(3-3)の開催



お茶・のり専門店 東京相互銀行前 TEL 300-8737

焼肉専門店

商談, クラス会, パーティーの席にご利用下さいませ

焼肉 あがべこ

サービスランチタイム

午前11:30~午後2:30 土, 日, 祭は除く

午前 11:00 ~ 深夜 2:00

定休 火曜

仙川駅第一勧銀前

☎ 308-4419

夏バテしそうなあなた, セブンイレブンパワーはいかがですか?!

1才の Birthday も忘れないでネ



セブンイレブン調布仙川店

甲州街道沿い, 仙川駅入口

☎ 305-0711

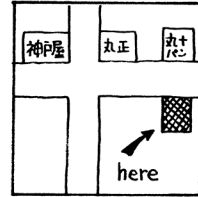
カフェテラス葉山

Hayama

coffee, tea, good taste meals and party place

ヨーロッパ, アメリカより直接買い集めた世界の逸品をお売りする

Import Import Space OPEN !



CHOFU
SENGAWA 1-12-15
FUJI BUIL 2F

☎ 326-0243

beer city
HEARTLAND
PUAPUA

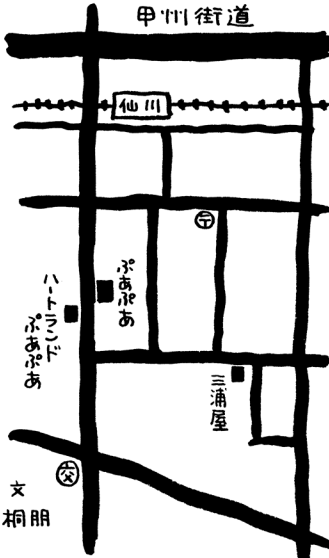
仙川商店街

TEL 307-0810

ふぐ割烹

三浦家

☎ 308-0280



日本料理・肉料理

ぶあぶあ

京王線仙川駅下車徒歩3分
調布市仙川町1-16-9

TEL.03(308)2051



ぶあぶあ

日本料理ぶあぶあ 2F

☎ 309-6469

ニーズに合わせて御利用下さい

株式会社ぶあぶあ ☎ 308-0850

 <p>パーティ予約受付中</p> <p>ザ・ボウル・ガーデン</p> <p>客席120席ノ 永楽信金2F ☎326-1315</p>	<p>10年たちました。コーヒーやお酒を飲みながら 喫茶&スナック 夢を語ろう</p> <p>ま り</p> <p>10:00~24:00 商店街中央 日曜定休 ☎309-6384</p>
<p>ゆであげスパゲティの店</p> <p>スパゲティ&ピザ</p> <p>まほうつかいのでし</p> <p>神代書店2F ☎309-4644</p>	<p>あなたの街の電気店</p> <p>ヤナバ電気商会</p> <p>若葉町2-24-19 ☎307-3182</p>
<p>カット&パーマ 着付</p> <p>おしゃれサロン 真 珠</p> <p>若葉町1-28-20 ☎309-2180</p>	<p>この地球が緑のユートピアになりますように。</p> <p>ケーキの店 ハックルベリー</p> <p>仙川町1-21-26 ☎307-1955</p>
<p>そば処</p> <p>平 野 屋</p> <p>桐朋学園前 ☎308-0115</p>	<p>中華料理</p> <p>光 生 軒</p> <p>11:00~20:00 桐朋学園前 ☎300-4413</p>
<p>ミセスの装い・おしゃれのみせカスミ</p> <p>Kasumi</p> <p>仙川商店街中央 ☎300-6768</p>	<p>JEAN'S FAMILY</p> <p>陸 井 門</p> <p>RIKUEMON ☎326-2282</p>
<p>季節料理 魚貝料理</p> <p>磯 平</p> <p>若葉町2丁目バス停横 ☎326-9631</p>	<p>ホビーショップ(手作り 手染め)</p> <p>たんぼぼ</p> <p>仙川駅前 ☎308-4637</p>

<h1>仙川音楽会 第11回 演奏会</h1>	
<p>—クインテットの夕べ— モーツアルト：フィガロの結婚より序曲他</p>	
<p>管楽 杉本亜矢 (Cl) (Cl) 武井俊樹 (Fg) 松井 浩 (Hr) 上田愛彦 (Ob) 佐藤一美 (FL) (FL)</p>	<p>— チケット1,000円 (お茶お菓子付)</p>
<p>日時・昭和63年9月7日(水) PM7:00開場 7:00開演</p>	<p>お問い合わせ・仙川音楽会事務局 TEL 03-430-5606</p>
<p>会場・仙川町2-4-1 川口三八宅 川口屋</p>	



まちニティ・ショップ・カタログ

広告掲載店INDEX

●着る

a Z I	9
いながわ	13
ehime	20
カスミ	39
カンバラ	9
キクヤ	17
クイン	21
左岸	31
三愛クリーニング	17
CHEVAL	22
たげ屋	31
たんぼぼ	39
ツカモト	21
明治屋靴屋	10
陸右エ門	39

●飾る

サンタロサ	22
真珠	39
美容室LERNE	31
堀内美容室	10
レモン美容室	10

●飲む・食べる

あかべこ	37
アンカー ヒア	22

磯春

磯平

一平

大鯨

家族庵

光生軒

サニーマイト

ザ・ボール・ガーデン

ジェノバ

チャティー・ずう

トンカツささ本

とんかつ仙川

葉山

平野屋

ぶあぶあ／ハートランド／三浦屋

ペルリ

まほうつかいのでし

まり

野州茶屋

よしきり

龍鳳苑

りん・ほふ

れあーる

仙川うまいもの会

アキヤマ

イシケンフロオリスト

●買う

アキヤマ	10
イシケンフロオリスト	31

玉晶堂	10
光輪堂	9
コットンハウス	18
ベル	18
しみずや	22
鈴仙	32
青香園	30
セブン・イレブン調布仙川店	37
たからや	13
ハックルベリー	39
パンベルシヤギヤラリー	10
藤屋	表2
ほうすいえん	30
サトウデンキ	18
丸正食品仙川駅前店	17
伊藤ハムショールーム 宮内	21
ヤナバ電気商会	39
山田屋金物店	31
山利屋	21
友&愛	31
りきや化粧品店	21

●備える

永楽信用金庫	12
芝信用金庫	12
第一勧業銀行	12
多摩ポデー	12
東京相互銀行	12
むさしや質店	18
サンライズ	17
神代書店	表3
聖教新聞	31

●知る・見る

清心堂	18
橋本新聞舗	17
訪文堂書店	31

●習う・創る・遊ぶ

アトリエ・梓	22
アトリエはちの巣	18
なかや本店	10
モッテ	20
モッタ	31
珪子書道会	22
スペース仙川	21
つつじヶ丘編物教室	22
ハクビ仙川着物教室	18
パチンコ コトブキ	32
プラザ ギャラリー	20

●からだ

市川歯科	22
大塚矯正歯科医院	表2
カワバタ薬局	18
仙川獣医科病院	32
仙川鍼灸治療院	21
広田薬局	21
福德治療室	32
グローバル設計	表3
佐藤工務店	22
フェリカ インテリア	9
やさま豊店	31

数字は掲載頁です。



昭和17年以来、戦災にもあわず、この室が東京支部の“村”

ちょっとおじゃまします!

新しき村・東京支部

木曜会

昨夜の先生の話はものすごかった。俺はこんなに力のこもった話が世の中にあるとは思えない。感動した。何ともかんと、部屋中に（頭の中じゅう）火が廻った位に感動的だった。俺の疲れていた頭は立ち直り、にえくりかえって、興奮の中で急がしく廻り出した。（江馬嵩）

——先生の話、実に素晴らしく感動させられた。エチオピアのライオンが吠えたような感じだった。（小国英雄）

昭和七、八年、村一五周年の頃の木曜会の描写である。実篤四八才の迫力と懸命さ、新しき村運動の熱気が伝わってくる。会場は転々としながらも、

——当時ぼくらは一回でも木曜会を休みたくなかったのである。（前田伍作）

中川孝は毎週謄写版刷りの支部通信を会場で配り、昭和七年から一七年まで続いた。毎週の木曜会の他、講演会、演劇

会、美術展を各地で連続して開催し、村外会員の拡大、村への経済的支援等の支部活動が活潑になされた……。

東京支部の木曜会は、昭和二年以来、戦時中の一時期を除いて、六〇年余毎週開かれ続けてきた。十年振りに会場の神田の新村堂を訪ねた日、写真専門学校に通う一九才の若者がいた。実篤の詩にひかれ、毛呂山の村を訪れ、村外会員になり、今日初めて木曜会にやってきたのだという。（佐美 佑）



新しき村東京支部の集會

月例会 一月を除く毎月第一日曜日 二時～四時

木曜会 毎週木曜日 夜七時～九時

場所 いずれも千代田区神田神保町二ノ十一 新村堂

地下鉄「神保町又は九段下駅」下車、さくら通り

電話〇三（二六）四九二番

*新しき村を知りたい方の来会を歓迎します

そして其日一番あとに見たのが石河内の城（ジョウ）だった。
 其処も自分達にすっかり気に入った。
 其処は擦鉢の底のやうに、四方高い山に囲まれてゐた。そして城は石河内の村とは河をへだて、如何にも別天地だった。その三方をかこんで流れる川は昨日の見た川の上流で更に美しかった。激流の



創設期の人々（1919.6）



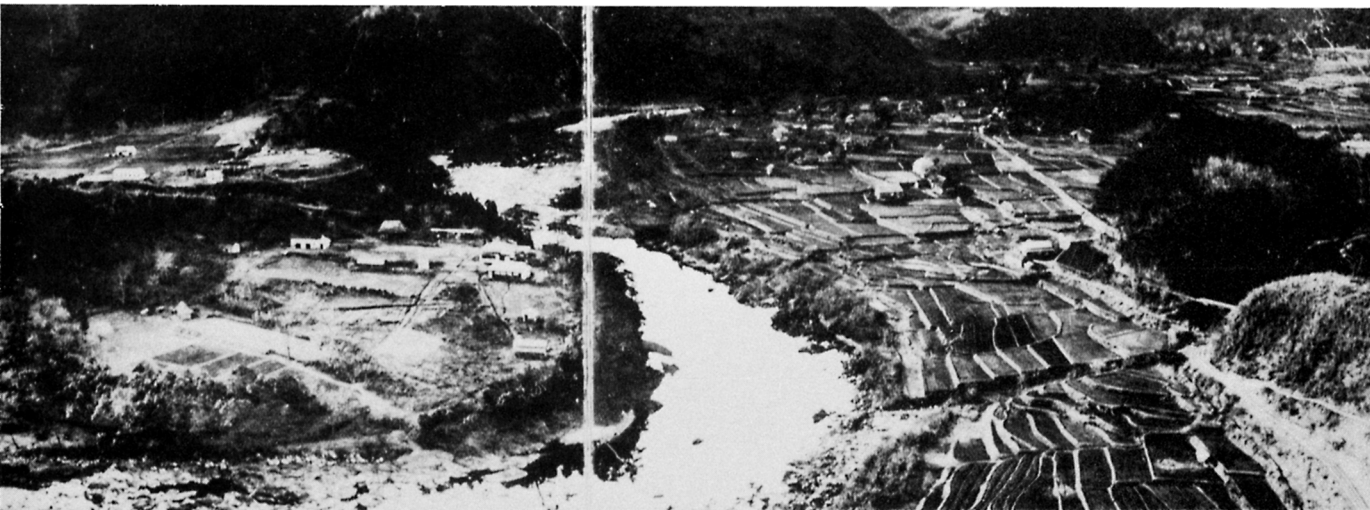
中央が実篤



畑の労働
 （1925.3）

日向新しき村

むかし



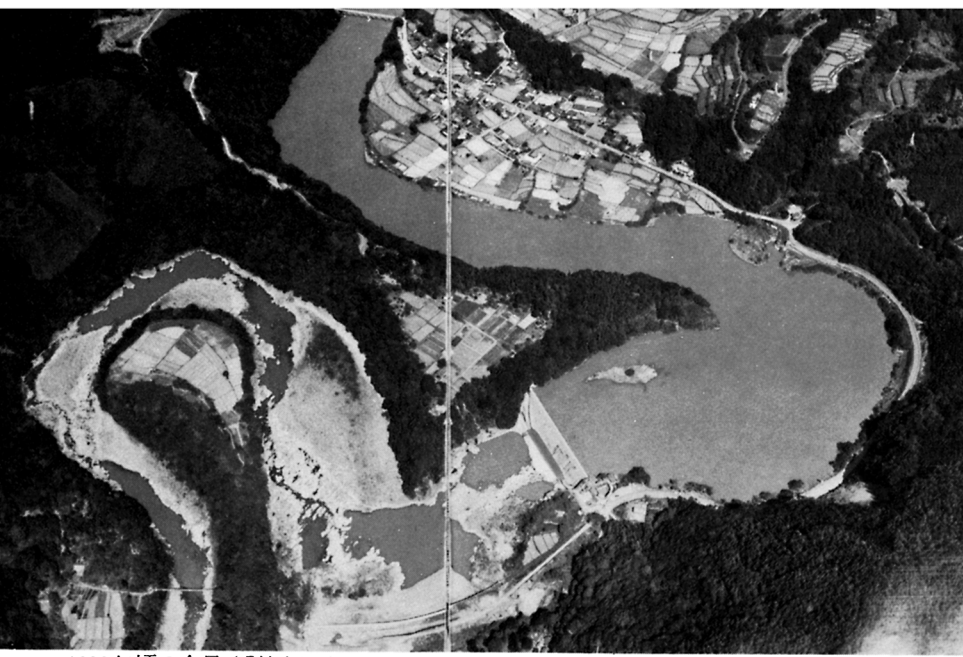
しら新の内橋局城木監崎宮（昭和十一年五月十五日）

新しき村

其左に河村しら新の内橋局城木監崎宮（昭和十一年五月十五日）

小丸川

石河内の集落



1980年頃の全景（「航空写真・宮崎」から）

処や淵の処があつた。仲間の一人は、十一月に近かつたが、その川にとび込んで泳いだ。
 自分とはかく特色のある土地をのぞんでゐた。最初の土地は何かの点で、比類のないものを持つてゐる必要があつた。

武者小路実篤『土地』より

いま



松田省吾、ヤイ子さん夫妻



坂下文一さん



石河内地区に新設 書道教室、集会所も兼ねる

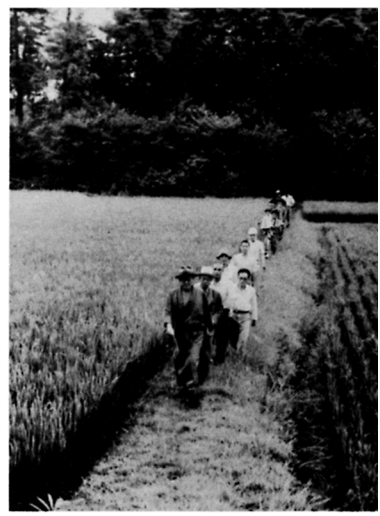


70年の歩みを共にする武者小路房子さん（96歳）

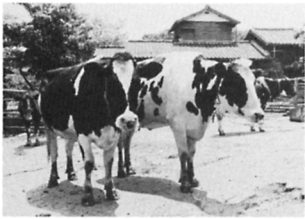
写真提供
 新しき村
 実篤記念館
 全景（1925.3）



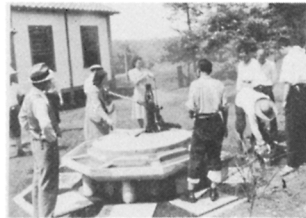
新しき村 (毛呂山)



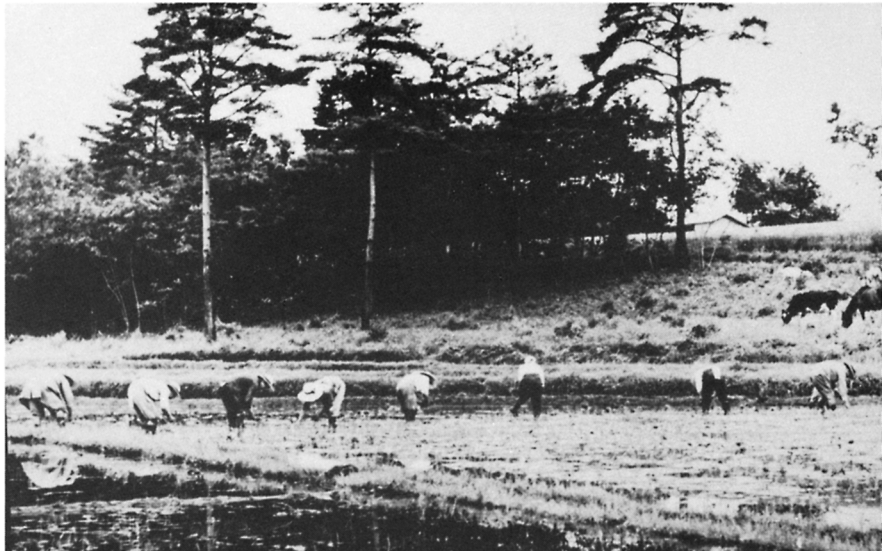
写真提供 新しき村



むかし



カメラ 加藤純一郎





村の七十周年に、埼玉の村から。

渡辺兼次郎

日向から埼玉に移って来て満四十九年目になり、その間に一家族になった時もあったと聞かすが、埼玉の村もいろいろの事があったと聞かすが、現在、一九八八年七月で五十一名の村内生活者となっている。世帯数は十二で、仕事は養鶏を主に、田の仕事、畑、茶、牛乳、梅、しいたけ、やきもの、美術館等が収入源とし



いま

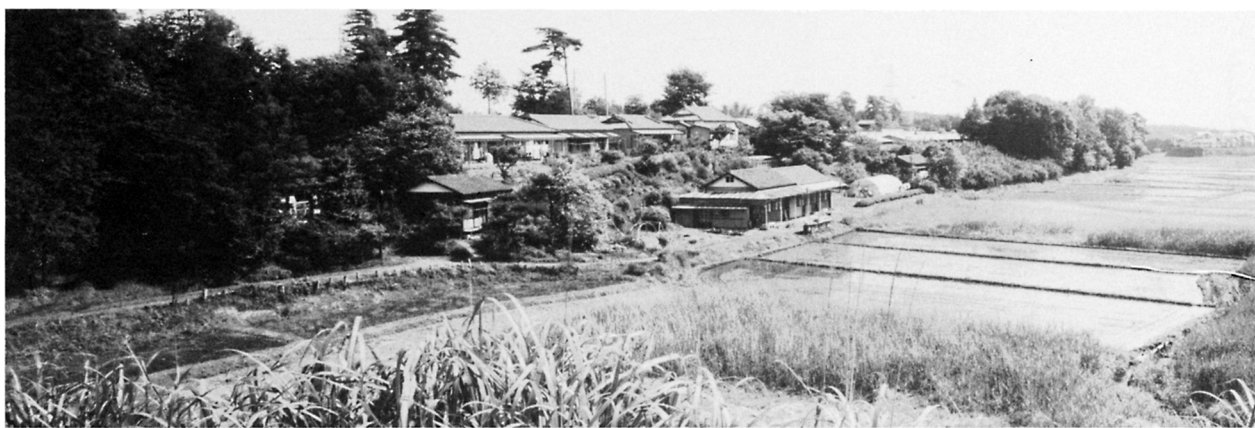


て成り立っている。係はだいたい専門的になっているので、その係の担当者にまかされていて、経験も長い人が多いので、スムーズに行なわれている。食事の方は女の人たちが中心になって交代で当番にあたっている。

地道な農業が中心であっても、世の中の流れにやはり村も左右される側面はもっているが、いざとなればそれなりの協同生活の強さも出てくるのかも知れないが、いろいろな問題はたえずあつて、

そのいろいろの問題を上手くクリアして行かないと将来の発展が望めなくなる場合もありうるので、いろいろの知恵を出しあつて進んで行かなくてはならないと思つている。

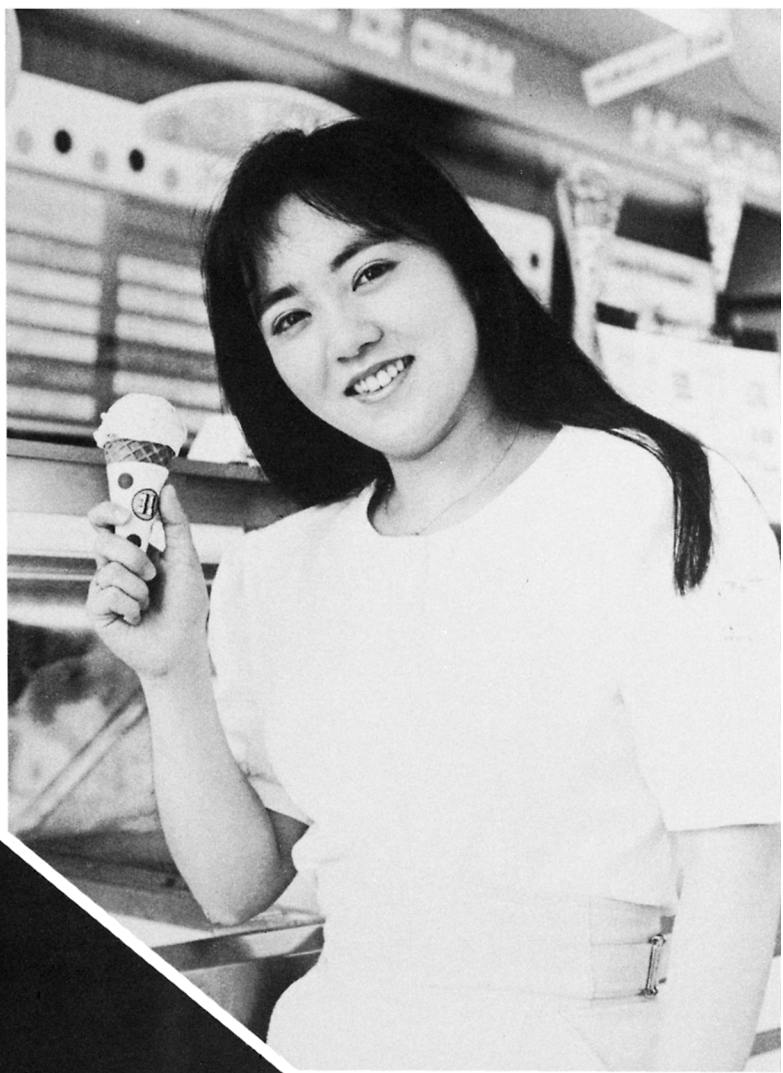
「新しき村」に来る人たちから時おり聞く事は、「新しき村」に入つて来ると何だかとてもびやかな気分になると言う、これは七十年の間につちかわれた、目に見えない、ある雰囲気のようなものではないかと思つている。



仙川の美男

美女

キラリ・パチリ でっちあげ!?



上原美知世 さん

血液型と星座/B型, 射手座, 好きな
タレント/明石家さんま, 趣味/テニ
ス, スキューバダイビング, お琴, スポ
ーツなら何でも見るよりするのが好き,
仙川で行きつけの店/よしきり, 東国
書林

—サーティワンでバイト中。早く素
敵な家庭をつくりたい。

村田原史朗 さん

血液型と星座/スペシャルO型, 双子
座, 好きなタレント/時任三郎, 趣味
/ロックを中心としたバンドを組んで
ボーカルを担当, 仙川で行きつけの店
/かふえ・ど・れあーる, ストロベリー
ファーム

—通称ゲン。自分の雰囲気人が人に伝
わる男になりたい。





株式会社 グローバル設計

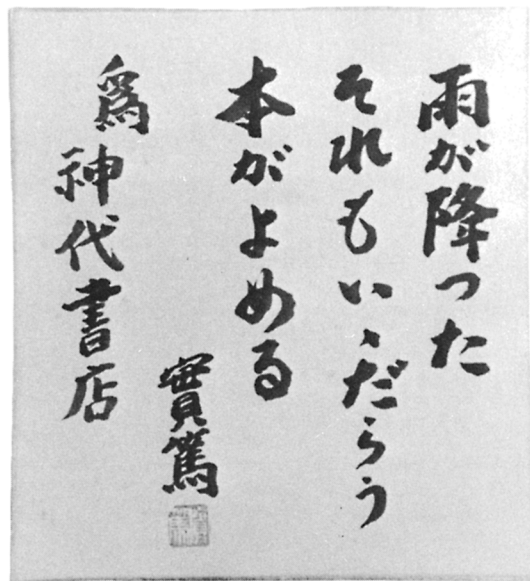
調布市仙川町 1 丁目15番地47号

☎(03)300-0081 ひなたビル

一級建築士 菅 哲生



仙川作品—その16— 植松ビル



書籍と文具 神代書店

桐朋学園前

☎300-5633

せんがわギャラリー



実篤自画像 (1959.7.9)